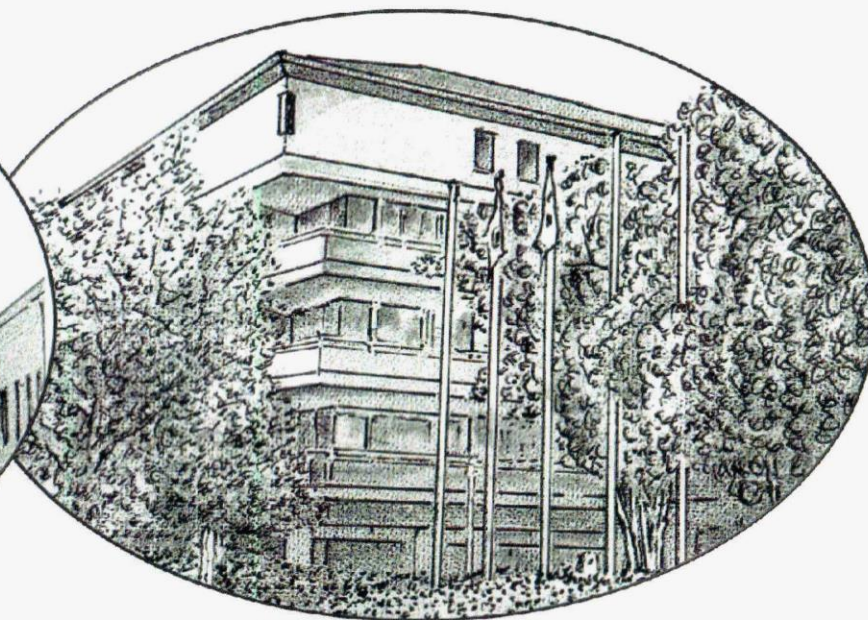
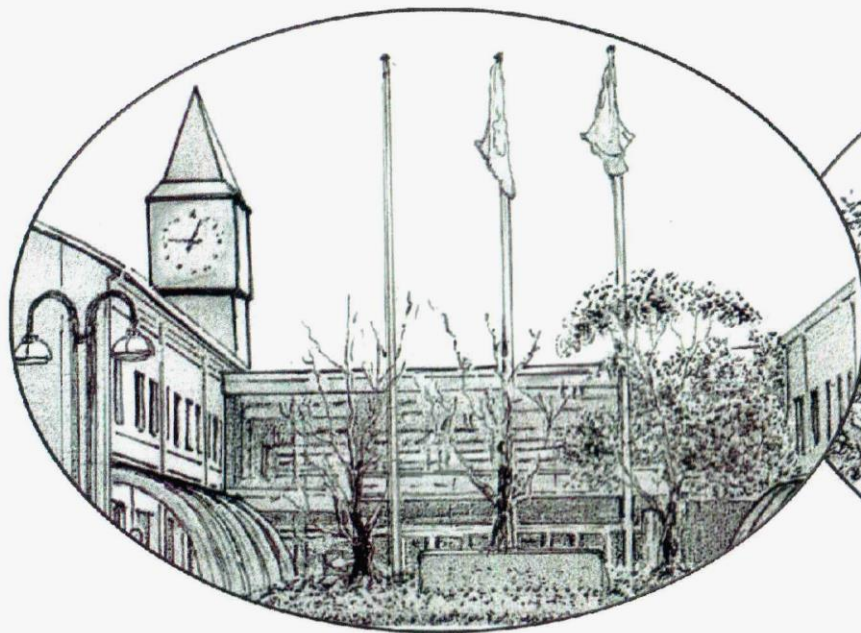


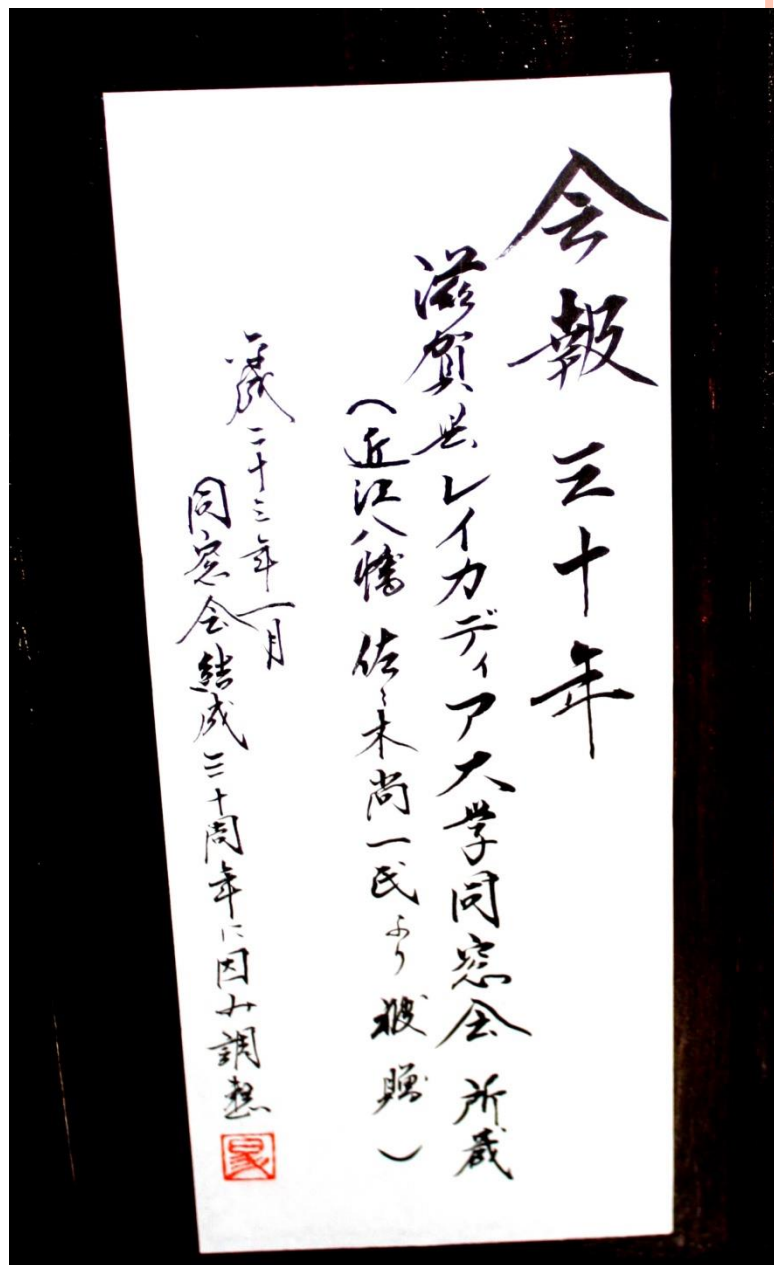
「會報」でたどる
同窓会 30 年のあゆみ

滋賀県レイカディア大学同窓会事務局

山 岡

平成24年度 本部定期総会表紙挿絵
H5.7.30大津校舎より長寿センターへ S63.10.13米原校開設





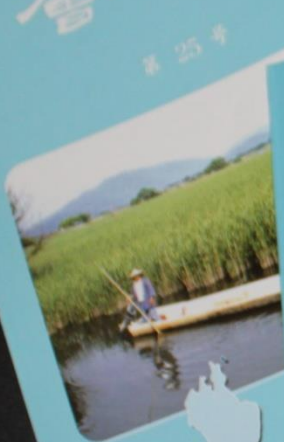






會報

第 25 号



滋賀県

會報

第 26 号



滋賀県レイカディア大学同窓会

會報

第 27 号



滋賀県レイカディア大学同窓会

大 賢

(No.3)



滋賀県老人大学校

昭和 56 年 9 月 編

大 賢

〒520 大津市京町四丁目

滋賀県厚生会館

滋賀県老人クラブ連合会内

滋賀県老人大学校 発行

滋賀県老人大学校設置の目的

高令者人口が増大しつつある今日、高令者が社会の進展や環境の変化に順応する能力を再開発し、社会活動への参加や余暇の利用による生きがいの上に、充実した価値ある生活を営みうるよう、高令者に学習の機会を提供し、老人福祉の向上を図ることを目的とする。





皆さん方は二年前、県下各地からそれぞれ思いを抱かれて入学されたことと思います。あれから二年間、ある方は仕事をしながら、またある方は地域活動に従事しながら、この老人大学校において学習を続けられた七十名の皆さんを、卒業生として送り出すことになりました。高年齢者が学習を通じ、社会活動への参加と生きがいの上に、充実した生活を送るとともに地域リーダーの育成を目的として設置いたしました本老人大学校も、高齢化社会の進展と相俟って、ようやく地域に根をはり、県民の期待も高まりつつあります。

滋賀県老人大学校長

武村正義

(滋賀県知事)

式辞

S53・7・14 滋賀県老人大学開設

S53・9・29 第一期生入学80名
「園芸」「陶芸」「生活科学」「福祉」
各一年制 於・近江八幡市農協会館

S54・9 二学年制に・福祉学科を「文芸学科」に

S55・9・22 県老人大学同窓会設立
初代会長 大橋儀平氏(甲良町)

S56・10 校舎を近江八幡から大津市「厚生会館」に移す

S57・9 第三期生卒業 同窓会員216名

初代同窓会会長 大橋儀平氏のこと

- 出身 犬上郡甲良町(旧東甲良町)大橋久吉氏二男として明治25年5月30日生
- * 昭和39年 72歳で「和楽の会」(老人会設立)、町老人会会長、県老人会理事など経歴。
- * 昭和53年 老人大学校設立と同時に、86歳で入学(一期生)
- * 昭和55年 88歳にして卒業。代表で謝辞を述べられる。
- * 卒業と同時に創立された「滋賀県老人大学校同窓会」初代会長に就任。昭和62年顧問に、昭和63年感謝状を受けられる。
- * 平成4年・9月 敬老の日に100歳の長寿を祝して内閣総理大臣より証書・記念品を贈られる。
- * 平成5年 花さく春を前に大往生。
- * 座右の銘 「老にして学べば死すとも朽ちず」

(注) 少にして学べば壮にして有為
壮にして学べば老いにして衰えず)



四期生議員の模擬議会 (558.9.24)

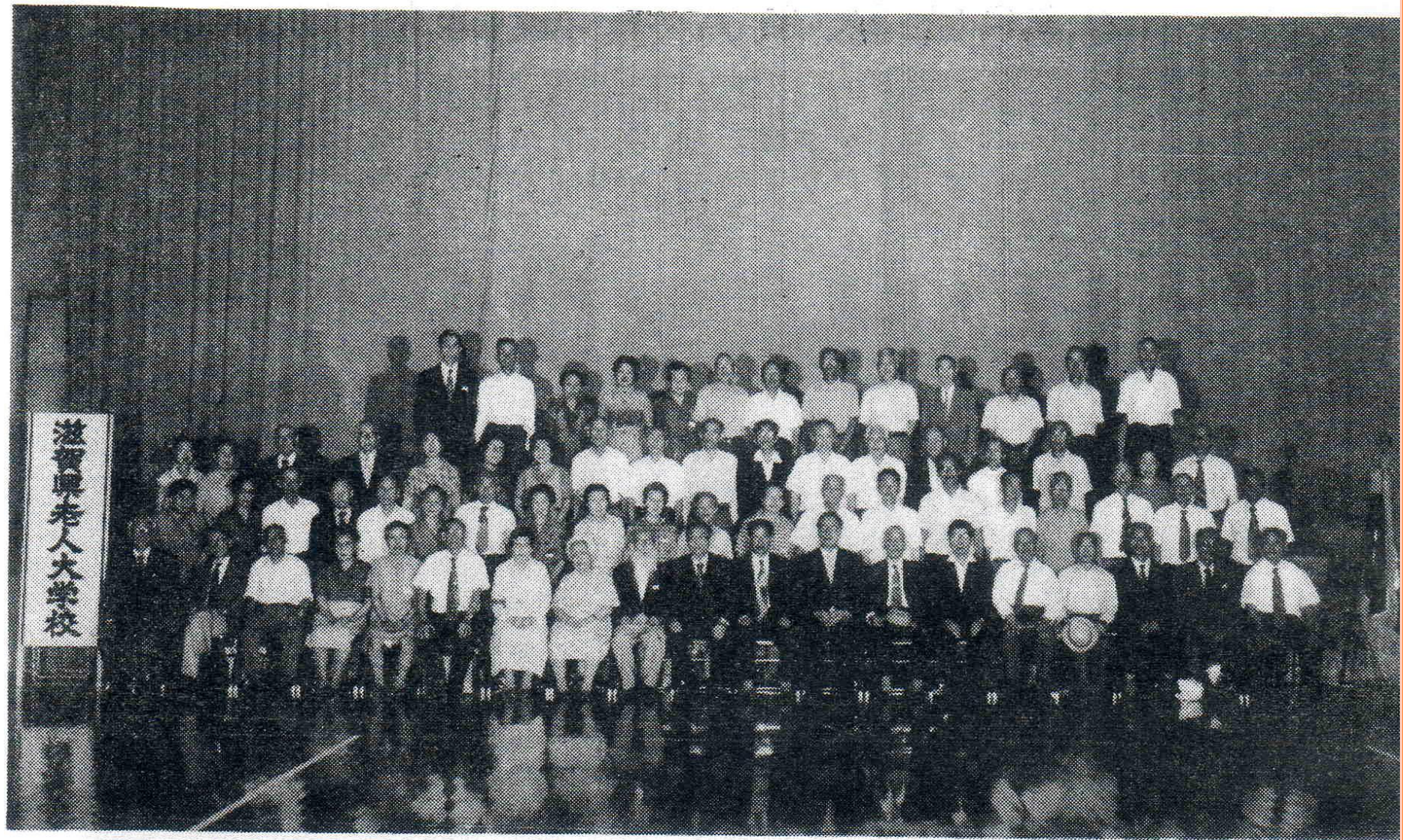


知事 武村正義 学校長



議場：県商工労働会館

同期の仲間



昭和53年9月29日 一期生入学式 於 近江八幡市農協会館



昭和 54 年 10 月 18 日入学二期生の研修 於 岡山県閉谷学校

この頃の世相

昭和52年～55の滋賀

- S52・5 合成洗剤追放運動盛
ん
- ・8 S56の滋賀国体内定
 - ・10大津市人口20万人突破
- S53・11第44代知事に武村正義
氏再選
- S54・10＜琵琶湖条例＞成立
(富栄養化防止)
- S55・4 北縦、米原一敦賀開通
- ・7 県立図書館開館
 - ・10国勢調査人口107万超

政 治・経 済など

- S52・7 領海12浬、漁業専管水
域200浬実施
- ・この年世界一の長寿国に
(男79.69 女77.95歳)
- S53・5 成田空港開港
- ・この年円高進みドル237円
- S54・11第二次大平内閣発足
- S55・7 鈴木善幸内閣発足
- ・7モスクワ五輪ボイコット
 - ・この年パソコン・ワープロ普
及



老 大 の 沿 革

年・月・日

摘

要

S 53・7・14	S 54・9・22	S 55・9・22	S 56・9・19
滋賀県老人大学校開設 同 老人クラブ連合会に事業委託 第一期生公募 第一期生入学式 80名(男52・女28) 於近江八幡市農協会館 園芸学科20名(男19・女1) 陶芸学科20名(男14・女6) 生活科学学科20名(女) 福祉学科20名(男19・女1) 二学年制発足 第一期生修了式(一年修了者11名・二年進学者69名) 於近江八幡市民文化館 第二期生入学式・始業式 80名(男61・女19) 於近江八幡市民文化館 園芸学科20名(男) 陶芸学科20名(男17・女3) 生活科学学科20名(男4・女16) 文芸学科20名(男) 本年度より福祉学科にかわって、文芸学科設置 第一期生卒業式 於草津市社会福祉センター 二年制卒業 67名(男子45名・女子22名) 県老人大学校同窓会設立総会・発足 於草津市社会福祉センター 第三期生入学式・始業式 80名(男60・女20) 園芸学科21名(男) 陶芸学科20名(男) 生活科学学科18名(男2・女16) 文芸学科21名(男17・女4)	学校長 武村 正義 (県知事) 副校長 品矢 静雄 (県厚生部長) 西村 照明 (課長) 藤野利之助 (課長補佐) 吉村 憲龍 (専門員) 正木 泰起 (主事)	学校長 武村 正義 (県知事) 副校長 品矢 静雄 (県厚生部長) 西村 照明 (課長) 藤野利之助 (課長補佐) 吉村 憲龍 (専門員) 正木 泰起 (主事)	第二期生卒業式 於近江八幡市農協会館 卒業生 70名(男50・女20) 園芸学科19名(男) 陶芸学科15名(男12・女3) 生活科学学科18名(男3・女15) 文芸学科18名(男16・女2) 二か年間皆出席賞授与 5名 園芸学科1名(男) 生活科学学科2名(男1・女1) 文芸学科2名(男) 本年度から教室を、近江八幡市から大津市(厚生会館)に移す。 第十七回全国身体障害者スポーツ大会が、本県にて開催されたので、参加選手に対し記念品を贈呈する。 学生の手作り作品 陶芸学科 (文鎮 一二〇〇個) 生活科学学科 (テーブルセンター 一五〇枚) 文芸学科 (万葉集のなかの近江の和歌編 一二〇〇冊) 第四期生入学式・始業式 78名(男51名・女27) 於県厚生会館 園芸学科25名(男21・女4) 陶芸学科18名(男15・女3) 生活科学学科17名(女) 文芸学科18名(男15・女3)
県老人福祉課 寺井 昭一 (課長) 藤野利之助 (課長補佐) 川尻 治雄 (専門員) 正木 泰起 (主事)	県老人福祉課 寺井 昭一 (課長) 藤野利之助 (課長補佐) 川尻 治雄 (専門員) 正木 泰起 (主事)	県老人福祉課 西村 照明 (課長) 川尻 治雄 (課長補佐) 田中 耕一 (専門員) 林 良 (主事)	県老々連事務局 広瀬 亮誠 (事務局長) 坂 啓二 (次長) 宮崎 洋子 (事務員) 奥山 綾子 (事務員) 国松佐三郎 (老大囑託) 連合会 井上 英貞 (会長) 北川 一郎 (会長) S 55

S 56・9・19	S 55・9・22	S 54・9・22	S 53・7・14
第二期生卒業式 於近江八幡市農協会館 卒業生 70名(男50・女20) 園芸学科19名(男) 陶芸学科15名(男12・女3) 生活科学学科18名(男3・女15) 文芸学科18名(男16・女2) 二か年間皆出席賞授与 5名 園芸学科1名(男) 生活科学学科2名(男1・女1) 文芸学科2名(男) 本年度から教室を、近江八幡市から大津市(厚生会館)に移す。 第十七回全国身体障害者スポーツ大会が、本県にて開催されたので、参加選手に対し記念品を贈呈する。 学生の手作り作品 陶芸学科 (文鎮 一二〇〇個) 生活科学学科 (テーブルセンター 一五〇枚) 文芸学科 (万葉集のなかの近江の和歌編 一二〇〇冊) 第四期生入学式・始業式 78名(男51名・女27) 於県厚生会館 園芸学科25名(男21・女4) 陶芸学科18名(男15・女3) 生活科学学科17名(女) 文芸学科18名(男15・女3)	学校長 武村 正義 (県知事) 副校長 寺田 稔 (県厚生部長)	学校長 武村 正義 (県知事) 副校長 品矢 静雄 (県厚生部長) 西村 照明 (課長) 藤野利之助 (課長補佐) 吉村 憲龍 (専門員) 正木 泰起 (主事)	学校長 武村 正義 (県知事) 副校長 品矢 静雄 (県厚生部長) 西村 照明 (課長) 藤野利之助 (課長補佐) 川尻 治雄 (専門員) 正木 泰起 (主事)
県老人福祉課 西村 照明 (課長) 川尻 治雄 (課長補佐) 田中 耕一 (専門員) 林 良 (主事)	県老人福祉課 西村 照明 (課長) 川尻 治雄 (課長補佐) 田中 耕一 (専門員) 林 良 (主事)	県老人福祉課 西村 照明 (課長) 藤野利之助 (課長補佐) 吉村 憲龍 (専門員) 正木 泰起 (主事)	県老々連事務局 広瀬 亮誠 (事務局長) 坂 啓二 (次長) 宮崎 洋子 (事務員) 奥山 綾子 (事務員) 国松佐三郎 (老大囑託) 連合会 井上 英貞 (会長) 北川 一郎 (会長) S 55

老 大 の 沿 革

年・月・日

摘

S 53
・ 7
・ 14

滋賀県老人大学校開設

同 老人クラブ連合会に事業委託

第一期生公募

第一期生入学式 80名(男52・女28) 於近江八幡市農協会館

園芸学科20名(男19・女1) 陶芸学科20名(男14・女6)

生活科学学科20名(女) 福祉学科20名(男19・女1)

二学年制発足

第一期生修了式(一年修了者11名・二年進学者69名) 於近江八幡市民文化館

第二期生入学式・始業式 80名(男61・女19) 於近江八幡市民文化館

園芸学科20名(男) 陶芸学科20名(男17・女3)

生活科学学科20名(男4・女16) 文芸学科20名(男)

本年度より福祉学科にかわって、文芸学科設置

第一期卒業式 於草津市社会福祉センター

二年制卒業 67名(男子45名・女子22名)

県老人大学校同窓会設立総会・発足 於草津市社会福祉センター

第三期生入学式・始業式 80名(男60・女20)

園芸学科21名(男) 陶芸学科20名(男)

生活科学学科18名(男2・女16)

文芸学科21名(男17・女4)

S 54
・ 9

9
・ 22

10
・ 18

S 55
・ 9
・ 22

10
・ 30

第二期生卒業式 於近江八幡市農業会館

卒業生 70名(男50・女20)

園芸学科19名(男)

陶芸学科15名(男12・女3)

生活科学学科18名(男3・女15)

文芸学科18名(男16・女2)

二か年間皆出席賞授与 5名

園芸学科1名(男)

生活科学学科2名(男1・女1)

文芸学科2名(男)

本年度から教室を、近江八幡市から大津市(厚生会館)に移す。
第十七回全国身体障害者スポーツ大会が、本県にて開催されたので、参加選手に対し記念品を贈呈する。

学生の手作り作品

陶芸学科 (文鎮 一二〇〇個)

生活科学学科 (テーブルセンター 一五〇枚)

文芸学科 (万葉集のなかの近江の和歌編 一二〇〇冊)

第四期生入学式・始業式 78名(男51名・女27) 於県厚生会館

園芸学科25名(男21・女4) 陶芸学科18名(男15・女3)

生活科学学科17名(女) 文芸学科18名(男15・女3)

第二号 S58. 3. 24 発行
 第二代会長 中川長三氏
 老大校歌・バッチ制定 会員286名

報 會

第 2 号



滋賀県老人大学校同窓會

年・月・日	摘 要
S 55・9・22	○滋賀県老人大学校同窓会の設立総会を、草津市社会福祉センターにおいて、第一期卒業式終了後に開催。 会則案の審議と承認。 役員選出
12・1	○同窓会役員会開催 会則第五条（事業）の具体化について協議
S 56・2・21	第一回総会日程決定 （S 56・3・25） ○理事会開催 総会日程の決定 予算案の審議と作成（別表） 会報形式の決定と執筆要領の決定
3・25	○第一回総会開催（草津） 会務報告 予算案の審議と承認 当日の老大公開講座に出席し研修する。

年・月・日	摘 要
S 57・2・1	○役員会
2・19	○会計監査
3・8	○第二回総会開催（草津） 会務報告 予算・決算の承認 当日の老大公開講座に出席し研修
12・14	○役員会 総会後懇親会 於あたか飯店
S 58・3・17	○会計監査 ○役員会 総会日程の確認 会計決算・予算の審議と作成 来早中開
3・24	○第三回総会開催（大津） 午前中 発表会・議事 午後 懇親会

郡市別県老同窓生数

郡市	1期	2期	3期	人員	郡市	1期	2期	3期	人員
大津市	12	11	14	37	神崎郡	3	2	5	10
草津市	3	4	8	15	愛知郡	3	2	1	6
彦根市	4	5	7	16	犬上郡	2	1	1	4
長浜市	3	2	4	9	坂田郡	3	2	2	7
近江八幡市	9	9	5	23	東浅井郡	2	2	2	6
八日市	2	1	2	5	伊香郡	3	2	1	6
守山市	3	2	0	5	高島郡	4	3	5	12
滋賀郡	1	3	1	5	県外	2	1	0	3
栗太郡	2	3	1	6					
野洲町	3	5	4	12					
甲賀郡	6	7	6	19					
蒲生郡	4	3	3	10					
合計	74	70	72	216					

〔昭和五十七年度役員〕

会長 副会長
理事 幹事

大田 丸川 桑竹 周菅 田中 大田 丸川 桑竹 周菅 田中
大田 丸川 桑竹 周菅 田中 大田 丸川 桑竹 周菅 田中
大田 丸川 桑竹 周菅 田中 大田 丸川 桑竹 周菅 田中
大田 丸川 桑竹 周菅 田中 大田 丸川 桑竹 周菅 田中
大田 丸川 桑竹 周菅 田中 大田 丸川 桑竹 周菅 田中
大田 丸川 桑竹 周菅 田中 大田 丸川 桑竹 周菅 田中
大田 丸川 桑竹 周菅 田中 大田 丸川 桑竹 周菅 田中
大田 丸川 桑竹 周菅 田中 大田 丸川 桑竹 周菅 田中
大田 丸川 桑竹 周菅 田中 大田 丸川 桑竹 周菅 田中
大田 丸川 桑竹 周菅 田中 大田 丸川 桑竹 周菅 田中

3. 学習状況

(1) 学校行事をなるべく多くして、学年合同自主活動・学年別自主活動・学科別自主活動を系統づけ、全校協力・学年協力・学科協力の実践力の発揮と集団活動の自主推進にとりくんでいる。

(備 第五期生の定数を増加し、95名入学許可す。

総計	文芸	生活科学	陶芸	園芸	学科
92	28	15	17	32	一年(四期)
74	16	16	17	25	二年(五期)
166					

2. 在籍数(S58・3現)

昭和五十六年度から、滋賀県厚生会館を主校舎にして運営。

1. 校舎

(2) 学科を通じた社会参加の開拓に重点を付けている。そのため現地学習・現地訪問学習等では、学科単位、あるいは必要学科が合同する形で、目的に応じた集団を構成したうえ、現地との事前連絡会をもって、学習と社会参加活動の一体化に尽力している。

あとがき

第二号発行に際して、大学校長武村正義知事殿から、メッセージを賜わり、同窓会の活動に、激励をいただき、また、ご期待をおかけいただいたことは、一入感謝を覚えるものがあります。

会員が年々増加する私たちの会が、まず結束を強める。なお活動を追究することによって、本会の使命達成に向かい活気旺盛していくことを願うものです。

多くの方から原稿をいただきましたこと、ありがとうございます。内容を配慮して、役員会で審議した編集計画の一部変更をいたしました。ご了承ください。

編集へのご協力に感謝いたします。(編集部)

第二号

昭和五十八年三月二十四日

発行 滋賀県老人大学校同窓会

印刷 吉田印刷所

滋賀県老人大学校同窓会々則

第一条（名称）

本会は、滋賀県老人大学校同窓会と称する。

第二条（会員）

本会は、滋賀県老人大学校卒業生をもって組織する。

第三条（事務所）

本会の事務所は、滋賀県老人大学校本部内におく。

第四条（目的）

本会は、会員の親睦・研修および老老の発展に寄与することを目的とする。

第五条（事業）

本会は、前条の目的を達成するために、左の事業を行なう。

一、総会

二、研修会

三、老老後援活動

四、会報の発行（年一回）

五、その他の事業

第六条（役員および役員の選出・任期）

本会に次の役員を置く。

会長 一名

副会長 一名

理事 一〇名

幹事 二名（会員・事務局から各一名）

監事 二名

役員の選出方法

会長および副会長は、理事会によって選出する。

選出する。

理事は、各学科から選出する。

幹事は、会長が委嘱する。

監事は、各学科が交替で二名を選出する。

役員の任期

役員の任期は二年とする。

第七条（経費および会計年度）

本会の経費は、会費をもってこれにあてて。

会費

会費は、会員一人当たり年額一〇〇〇円とする。

会計年度

本会の会計年度は、毎年度四月一日から始めて翌年の三月三十一日をもって終わる。

付則

本会則は、昭和五十五年十月一日から施行する。

（改正）昭和五十七年十月一日から施行する。

ごあいさつ

会長 大橋 健 平

例年になく暖冬の中、会員各位には、老老卒業の意義をかみしめ、ますますご健勝にそれぞれの道にご精励のことと存じます。

思いおこせば、第一期生中の最高令者であった私が、周囲の皆様が寄せてくださったご親切のおかげで、八十七才という心身状態にめげず、何の苦もなく元気一杯通学させていただいた二年间は、青少年期には思えなかった感謝と嬉しさの連続でした。

この在学時の有難さに続いて、卒業間もなく発足した栄えある滋賀県老人大学校同窓会の、初代会長にご推挙いただいたことは、この上なき光栄でありますとともに、その任の重さを痛感いたしました。幸いにも、会員各位のご理解あるご支援をいただきましたお蔭をもって、事業面では、総会も第三回を迎え、三月二十四日には、第一・二・三期卒会員が、地域における活動情報を交換する「発表総会」を開催する運びにまで

到達しました。会員皆様の積極的なご協力に心から謝意を表する次第です。

また会報も、第二集発行の運びとなり、会員の公私にわたる活動ぶり、卒業一・二・三期生グループの連帯活動の実態を報告し合うことによって、同窓会のことからの社会的活動のあり方を探ることになったことも、老老卒業の使命感のあらわれと強く感動いたしております。

会長在任二ケ年は、いつの間にか過ぎたように思いましたが、会発足以来の総会・会報をふり返りまして、これでよかったという充実感を味わっています。これも全く会員各位が、高齢、枯木の私に花を咲かせてやろうと支えてくださったおかげであると感謝いたします。

あとになりましたが、本会報のために学校長武村正義知事殿から、メッセージを頂戴し、ご激励賜わりましたことを衷心お礼申しあげ、母校のますますのご発展を祈念いたします。会員各位のご協力に感謝し、会の発展を祈ってごあいさついたします。

會 報

第 3 号



滋賀県老人大学校同窓會

第三号 S59・5・16 発行

第四回定期總會
於・彦根市民會館
「八支部結成」

* 彦根・愛・犬支部
支部長近藤辰次郎氏 (彦根市)



理事 副会長 会長

幹 監
事 事

国	中	宇	田	桑	竹	丸	大	田	菴	中	中	齐	中	中	中
松	村	野	中	野	中	市	橋	中	原	村	村	内	嶋	村	川
佐	標	し	源	久	喜	儀			忠	標	義	俊		標	長
三			五												
郎	雄	五	郎	大	作	好	平	花	男	雄	朗	吉	実	雄	三

第三号

昭和五十九年五月十六日

発行 滋賀県老人大学校同窓会
印刷 吉田印刷所

S58・10 6期生入学
110名





昭和 55 年 10 月 30 日 三期生入学式 於 草津市社会福祉センター

同 期 の 仲 間



昭和 53 年 9 月 29 日 一期生入学式 於 近江八幡市農協会館

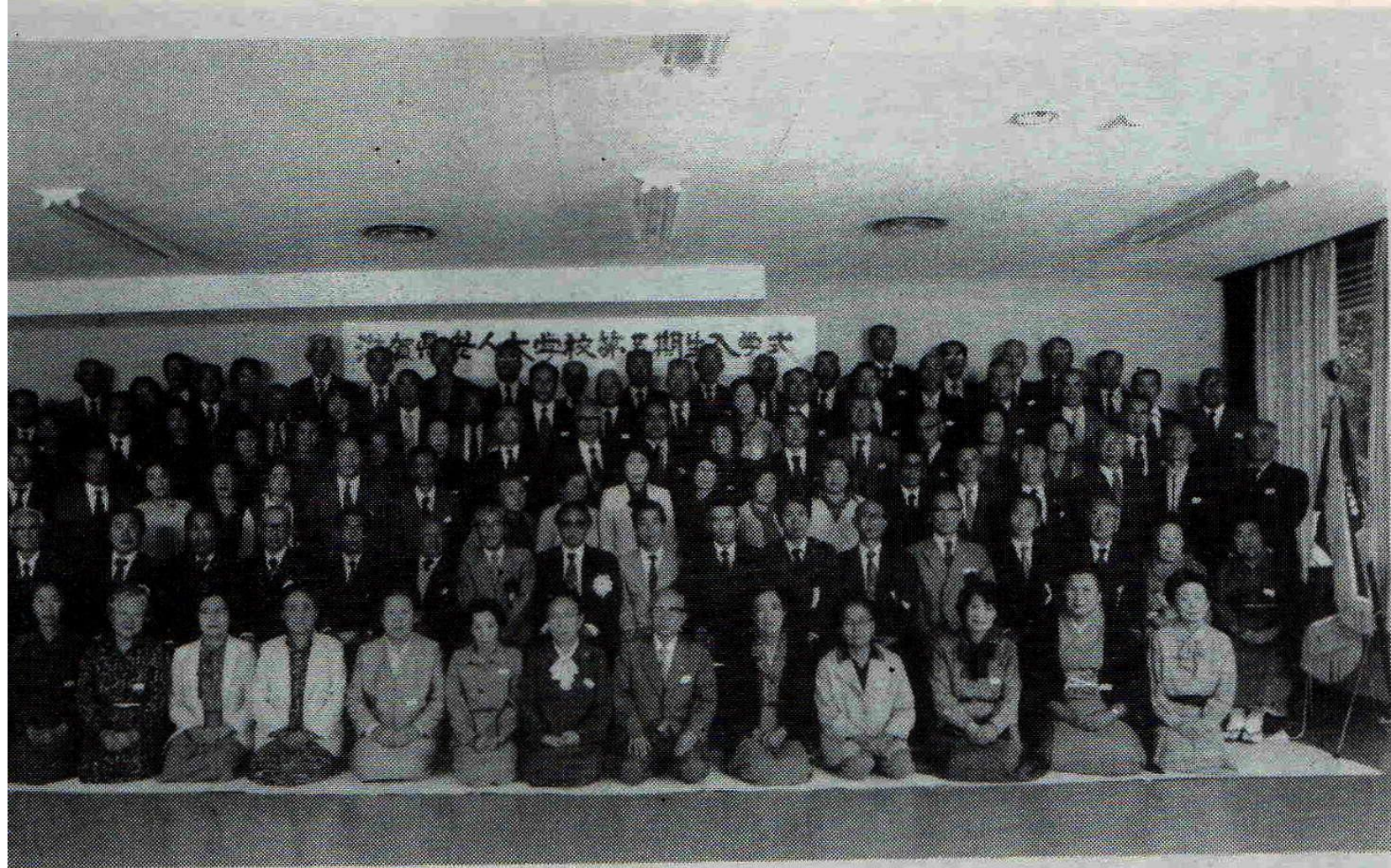


昭和 54 年 10 月 18 日入学二期生の研修 於 岡山東開谷学校



昭和 56 年 10 月 29 日 四期生入学式 於 県厚生会館

新 会 員



昭和57年10月14日 五期生入学式 於県厚生会館

第四号 S60・5・10 発行

S60・5・10 定期総会

於・近江八幡厚生年金

休暇センター

(157名)

S60・6 「高島支部」結成

S60・12・23

老大独立校舎建設に関する請願
(10649名)

S60・10 9期生入学 110名





第五号 S61・5・7 発行

S61・5・7 定期総会

於・湖北農業会館

S61・9 第七期生100名卒業

(同窓会員563名)

S61・10・30 第一回親善ゲートボール大会

於・土山かもしか荘

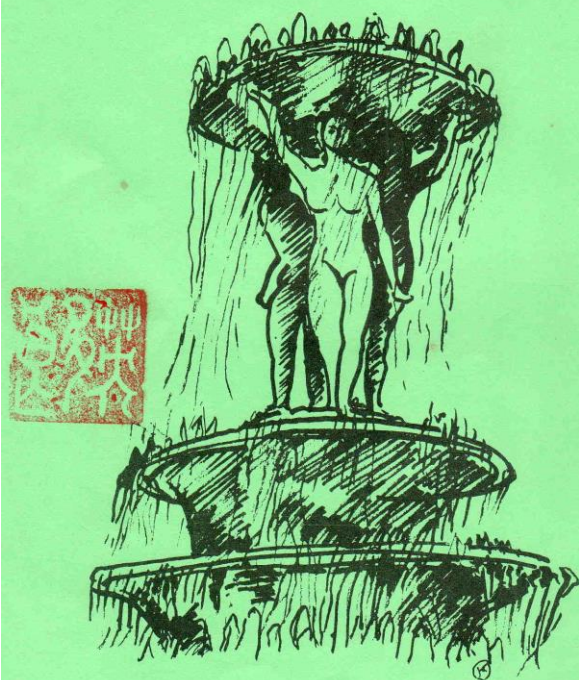
(第七回H4まで続く)

S60・10 8期生入学 105名



會 報

第 6 号



滋賀県老人大学校同窓會

第六号 S62・5・23 発行

S62・3・27 公開講座 於・八幡婦
人センター

S62・5・23 定期総会 於・八日市
太郎坊宮参集殿

S62・2・20 彦根・愛犬支部定期総会
於・彦根老ク連福祉セ ンター
(会員61名中34名出席)

S62・10 10期生入学 109名



が湖北支部の現状の姿です。それで支部運営をあづかっている私としては時間があれば遠路はかまわず各会員の御家庭に家庭訪問を致し本人は元より家族の方々に面談して連絡事項、会員の方々の様子をお話し、病状の方々には御見舞励ましの言葉を述べて会員の方々の現状は常に把握して支部運営しています様な事で色々支部活動を考えますが、それが実行出来ないのが支部活動の現状です。新会報が今回発刊されるので他支部の長所様方の御指導を仰ぎ同窓会の目的達成に努力いたし会員各位の象知を結集し価値高い同窓会にしていきたいと考えますので皆々様の御協力を切にお願ひ申し上げます。老大同窓会湖北支部の発展を誓ひ皆々様の御健勝をお祈りし湖北支部の現状報告と致します。

彦根・愛犬支部の現状

支部長 近 藤 辰次郎

滋老大支部制の発足以来早や三ヶ年を経過しました。当時支部長をお受けして以来会報を二回発行した程度で今日に及んでおりまして申訳けなく思っております。昭和六十一年度の本支

を含めて六十一名中出席者三十四名、彦根市老ク連福祉センターを会場に中川同窓会長の御出席を得て盛大に開催する事が出来ました事に対し誌上を借りまして厚く御礼申し上げます。出席者皆様の活発な御意見により親睦と教養を高めるために努力しお互豊かな人生経験を生かし福祉施策に甘える事なく、社会に奉仕する事に意見一致し、会報第三号の発行に対し、出席者全員、自己の近況・俳句・短歌等の原稿を必らず提出する事に決定した。

彦根市は市政五十周年の記念の年であり彦根城築城三百八十年協賛事業として80年世界古城博覧会が三月二十八日より五月三十一日迄六十五日間開催中であり、皆様の御協力をお願いするとともに、同窓会としても、同期同科の親睦と継りは深い支部全体としての親睦にはまだまだ一考を要する問題であり同窓会の発展のため、一段と協力する事を申合せ散会した。

高島支部の現状

支部長 岸 田 七 次

滋賀県老人大学校同窓会高島支部を六十年六月結成以来早二年を経過となりました。設立当初の支部長井口章夫氏が一年で

『滋賀県老人大学校同窓会々々則』

(案)

第一条 (名称)

本会は、滋賀県老人大学校同窓会と称する。

第二条 (会員)

本会は、滋賀県老人大学校卒業生をもって組織する。

第三条 (事務所)

本会の事務所は滋賀県老人大学校本部内におく。

第四条 (目的)

本会は、会員の親睦・研修および老老の発展に寄与することを目的とする。

第五条 (支部)

本会に支部を設け、前条の目的達成をはかる。

第六条 (事業)

本会は、前条の目的を達成するために、左の事業を行なう。

- 一、総会 二、研修会 三、老老後援活動 四、会報の発行(年一回) 五、その他の事業

第七条 (事業部)

本会に事業部をおき、支部長理事をもって構成し各部員は会長が委嘱し、部長は部員の互選による。

第八条 (役員および役員の選出・任期)

本会に次の役員を置く。

- 一、会長 一名、二、副会長 一名、三、理事 各支部 二名(支部長および支部選出者一名)
四、幹事 二名(会員・事務局から各一名) 五、監事 二名

。会長および副会長は、役員会によって選出する。

。理事は、各支部から選出する。

。監事は、各支部が交替で二名選出する。

役員の任務

。会長 本会を代表する。

。副会長 会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。

。理事 本会の運営にあたる。

。幹事 本会の事務を処理する。

。監事 会務・会計を監査する。

役員の任期

。役員の任期は二年とする。

条 (顧問)

本会に顧問をおくことができる。

条 (経費および会計年度)

本会の経費は、会費をもってこれにあてる。

会費

会費は、A会費とB会費とし

。A会費は、年額一、〇〇〇円

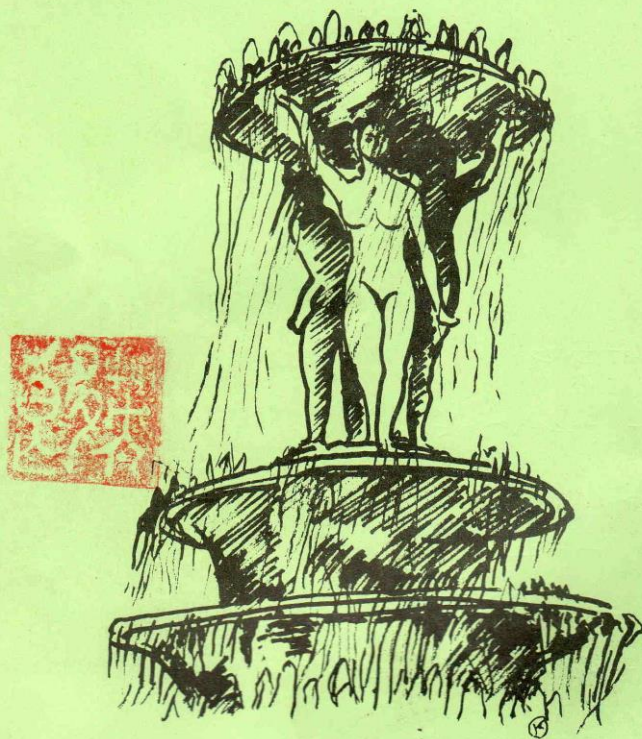
。B会費は、終身額一〇、〇〇〇円とする。

会計年度

四月一日から翌年三月三十一日

會 報

第 7 号



滋賀県老人大学校同窓會

S63・6・22 定期總會

於・石部町勤労研修會館

S63・6・11 公開講座 NHK鈴木健二

米原町カルチャーセンター

S63・10 研修會 沖ノ島一泊

S63・11・24 十周年記念事業

公開講座 ジェームス三木氏

野洲文化ホール

米原校開設 S63・10・13

スポレク学科新設

11期生米原校で入学式

米原95名・大津校111名入学

この頃の世相

滋 賀

S63・4 米原に県立文化産業交流会館開館

・8 京滋バイパス開通

H1 ・6 滋賀初の総理・宇野氏

・この年、県人口120万超

県民所得232.8万

(全国5位)

H2 ・6 47代知事に稲葉稔氏

・この年、人口伸び率(1・4%)で全国2位

政治・経済など

S63・1・7 昭和天皇崩御

H1 ・1・8 平成改元

・4 消費税実施

H2 ・4 花と緑博(大阪鶴見)

・10 人口1億2361万



開校十周年記念式典 H1・3・31 於・大津市民会館

ごあいさつ



滋賀県老人大学校は、高齢者に学習の機会を供し、社会活動への参加や生きがいを高めるともに、地域社会のリーダーを養成するとい目的で、昭和53年度に滋賀県が設置した大学です。

以来、9期752名の卒業生を送り出し、それれ地域社会でご活躍いただいているところであります。ここに10周年を迎えることができたことは、関係各位の温かいご協力の賜である、喜びにたえません。

今後とも、大学校の建学の精神であります、地域社会の「リーダーたれ」を念頭に、卒業生、在校生ともども、思いを新たに、新しい時代の創者像の創造に邁進されますようお願いいたします。

平成元年3月11日

滋賀県老人大学校校長

滋賀県知事 稲葉 稔

午前 部 記念式典

- 9:30 受付開始
- 10:30 開 式
- 10:33 校歌斉唱
- 10:38 物故者黙禱
- 10:40 学校長式辞
- 10:45 感謝状の授与
- 11:00 来賓祝辞
- 11:30 卒業生の思い出披露
- 11:45 決 意 在校生代表
- 11:55 閉会の辞

午後 部 記念公開講座

- 12:30 受付開始
- 13:30 開 講
 - ◆講 師 曾野綾子さん
 - ◆テーマ 『自分自身のための人生』
- 15:00 閉 講

◆講師プロフィール◆

本名 三浦知壽子
現代文学を代表する作家。1953年、三浦朱門氏と結婚、翌1954年、聖心女子大学英文科を卒業。主な公職としては、米日財団理事、科学技術会議専門委員、筑波大学参与会参与、静岡大学大学院参与会参与など。主な著書には、「無名碑」(1969年)「神の汚れた手」(1980年)「時の止まった赤ん坊」(1984年)「この悲しみの世に」(1986年) などがある。

感謝状受賞者

豊芸学科講師	辻 與左衛門
〃	嶋 岡 孝 夫
陶芸学科講師	大 西 忠 左
〃	西 尾 千 秋
〃	北 村 壽 三
〃	伊 藤 公 一
〃	川 口 雄 司
〃	高 井 隆 三
生活科学科	岡 崎 文 子
〃	川 村 正 純

生活科学科	榎 本 博 子
〃	大 辻 房 枝
〃	松 本 富 喜 子
文芸学科	伊 藤 雪 雄
〃	三 原 研 田
〃	谷 本 勇
事務局職員	広 瀬 亮 誠
〃	坂 啓 二
〃	国 松 佐 三 郎
〃	宮 崎 洋 子

昭和六十三年同窓会役員名簿

会長 中川 長三

副会長 中村 標雄

理事

高島支部 ○岸田 七次 (総務)

森 三郎 (研修)

大津 ○中村 標雄 (広報)

桑野 大 (研修)

湖南 ○林 秀一 (広報)

後藤 猪三郎 (総務)

甲賀 ○丸市 喜好 (研修)

宿谷 光次 (広報)

湖東 ○塚本 源太郎 (広報)

畑中 保治郎 (総務)

近江八幡 ○中嶋 庄右衛門 (研修)

中嶋 實 (総務)

彦・愛犬 ○野中 正 (研修)

辻 幸夫 (広報)

湖北 ○宮崎 程彦 (総務)

北村 勘七 (研修)

監事 島田寅次郎

林 長夫

幹事 中村 標雄 △副会長▽

片岡 徳夫 △事務局▽

○印 支部長

() 所属部

その必要に応じ役員会を開催する。集会は支部長これを召集する。

第七条（会計） 本会の経費は会費、入会金、寄付金を以て支弁する、会費は年間一〇〇〇円とする。本会の会計年度は四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る。

第八条（帳簿） 本会に次の帳簿を備える。

会員名簿、会計簿、記録簿

第九条（慶弔） 会員が死亡した場合は、弔電をお供えする。

第一〇条（規約の改廃） 本会の規約の改廃は、総会に於て出席者の過半数の議決による。

本規約は昭和五十九年一〇月一日より施行する。

昭和六一年一〇月二三日 一部改正

昭和六二年一一月二〇日 一部改正

彦根・愛犬支部だより

支部長 野 中 正

当支部は昭和五十九年九月に設立されすでに第九期生を迎えて会員数も八十二名に成り更に本年度より老人大学校も米原町に分校が増設され益々私共老人に対する勉学が増えると共に老大同窓会の会員もふえる事と思われまします。

私共の地域はすでに御承知の通り東は湖東の山々に囲まれた地域より西は湖岸に至る迄の広い地域で彦根市、愛知郡、犬上郡と三つのブロックに分かれそれぞれに特異なる地形の中で、同窓会会員相互の連携もままにならないその中で早くも六ヶ年を迎える事に成りましたのも各会員様並に役員様の御理解御協力のおかげと深く感謝しております。

本年二月に支部の総会に際しましては御多忙にもかかわらず中川同窓会会長の御臨席を賜り更に祝辞を賜り厚くお礼申し上げます。

同窓会設立当時より支部長として各界に活躍され皆様より信望も厚く支部長として最適任で有りました近藤前支部長が病氣療養のため辞任されその後任として不肖私が選任されその責任の重大性を痛感して居る次第で有ります。

同窓会の運営を更に進めるためにも新しい役員の方々を手をつなぎながらそれぞれの地域、社会人の一員として同窓生、同志で大いに頑張る心意義で取り組み「一言提言」を提唱し全会員に投稿を依頼し六月発行の第四号同窓会新聞に掲載しました。更に益々会の発展を図るために規約の一部役員数の変更も協議の結果承認され役員の増員を図り特異性なる土地柄を排除し充実した役員の皆様の御意見を拝聴し支部の運営を図りたく努力致す所存であります。

終りに際して皆様方の御指導御鞭撻の程宜しく衷心より御願

い致します。

当支部の役員の皆様をご紹介掲載させて頂きます。

支部長	野 中 正	彦根市
副支部長	辻 幸夫	同
同	北川 弥一郎	愛知郡
同	元持 弥太郎	犬上郡
会 計	川 村 順 茂	彦根市
庶 務	中 島 藤 五 郎	同
会計監査	村 田 穂	同
同	川 村 文 美 夫	同
幹 事	小 松 藤 五 郎	犬上郡
同	西 山 弥 一 郎	同
同	西 沢 正 三	同
同	島 村 三 郎	愛知郡
同	広 田 麻 治 郎	同
同	田 中 勇 蔵	彦根市
同	山 本 喜 一 郎	同
同	田 中 花	同
同	尾 関 久 雄	同
顧 問	近 藤 辰 次 郎	彦根市

會 報

第 8 号

平成元年度



滋賀県老人大学校同窓會

第八号 H2・6・9 発行

大学の運営を老ク連の委託から新しく設立された「財団法人レイカディア振興財団」に変更

H2・6・9 定期総会

於・能登川町やわらぎホール

彦根・愛犬支部会員75名



10周年記念式典同窓会長祝辞より抜粋

平成元年三月十一日

同窓会長 中川 長三

(文芸学科二期生)

○ わたしは湖北であります。湖北から八幡学校に通う、あるいは大津に通う、どんなに苦労したか、今思ってもよく耐えてきたなあと思います。この間、諸先生の慈愛こもるご指導を杖にあるときは県当局や県議会に請願をし採択されたこと、なお先進地の稲波野の大学校を見学したときには兵庫県でこんな立派な校舎、過程も四年制、大学院まであるのに滋賀県ではなんでもできないのであろうかと羨望の念禁じ難いものがありました。

○ しかし我々学生は乏しきに耐え、あらゆる困難を克服して、校歌もできました。校旗もできました。校章もできました。老人大学同窓会のバッチもできました。いろいろな面で、思い出の数々をいま考え直すときであらうと思います。

滋賀県老人大学校十周年 記念式典と記念植樹

去る三月十一日、大津市民会館において、開校十周年式典が大津、米原両校の在校生をはじめ、同窓生や関係者ら約六百人が集り盛大に催され、元同窓会長、大橋儀平氏（老大一期生）と現同窓会長、中川長三氏（老大二期生）の両氏より開校当初の懐かしい思い出を披露されると共に、在校生に対し、生きがいをもって有意義に日々を過ごすよう激励の言葉があった。

この老人大学校十周年記念事業の一環とし、同窓会として老人大学米原校の在る文化産業交流会館庭園の南側、噴水のほとり景勝の地に「クロガネモチ」を植樹することができました。

この記念植樹は、平成元年五月二十三日、さつき日和で好天に恵まれ、老人大学同窓会長・中川長三氏、同副会長・中村標雄氏、文化産業交流会館長・川口実氏、同副館長・川瀬清市氏、元事務局職員・片岡徳夫先生、両校事務局職員列席のもとに行われました。

この植樹された「クロガネモチ」はモチノ木科の常緑樹、雌雄異株で五月頃花柄状の淡紫色の小花が散状に咲き、晩秋には赤い実をつけ、小鳥がついばみます。又「もち」「もつこく」「もくせい」は日本庭園には主木として又金持ちの音便よりお芽出度い木として喜ばれます。

又記念碑は花崗岩の角石に「老人大学十周年記念」の揮毫を中川同窓会長にお願いしました。



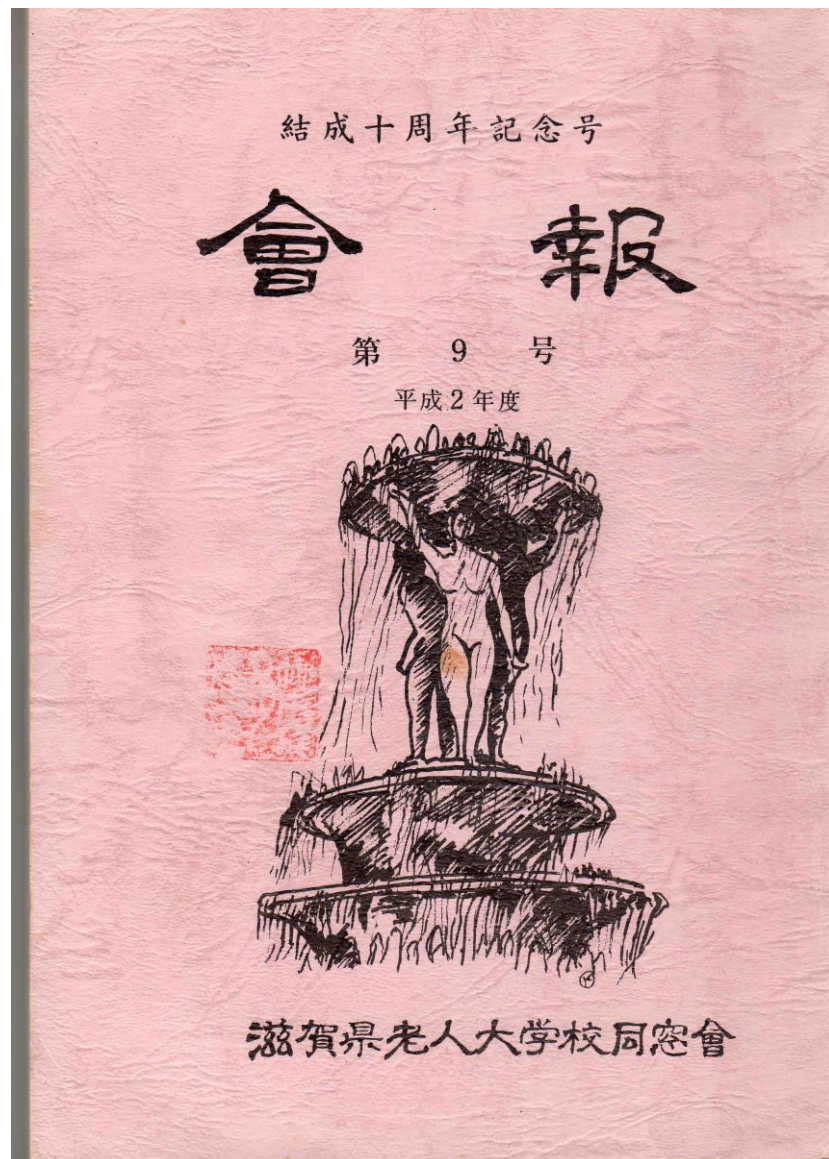
老人大学校開校十周年記念
式典の様子



H23・1・26 撮



平成3年6月 発行



H3・6・10 定期総会

於・草津市勤労福祉センター

会報9号

「同窓会結成十周年記念誌」

H3・10・10

十周年記念式典

於・アヤハレークサイドホテル

(300名)

彦根・愛犬支部より25名参加



ている伊藤雪雄、三原研田、嶋岡孝夫、辻与左衛門、
 西尾千秋、大西忠左、北村寿三各先生ならびに県立短
 大諸先生のご奉仕には満腔の感謝を捧げたい。
 校章、校旗、校歌の制定や学生による模擬県議会の
 開催など思い出は尽きない。

レイカディヤ振興財団の設立によって大学校運営の
 基盤が確立されたことは喜ばしい限りである。

結成十周年を迎えられた同窓会の一層のご発展を祈
 念すると共に、建学の精神に基づく地域老人福祉推進
 の担い手としてのご活躍を切に希望します。

る。十周年を祝しながら、日まづて親善する。

●県老大との縁を喜び誇りをもつて

●松千佐三郎

みなさんに、県の老人大学校であり、県が開設する学校は全国に五校しかないと口にした。これは、昭和五十三年の開校に当って、無から有をうむ如き労苦をされた広瀬亮誠先生（老犬受託法人県老々連事務局長）から聞き受けたことでしたが、県の発想のすばらしさの伝達でもあり、老犬に縁をもった喜びと誇りの表現でありました。

開校当時は、文部省教育課程審議会が、生涯教育のことを答申してから、すでに十数年近い時が経過していながら、誰が何をどうするかと言う議論が出るまでには到っていないのです。そんな時代に県が全国的にも優先して開校されたのですから、すばらしい事業だったのです。この事業をふまえて、みなさんと共に誇りをもって前進したことは、お互いの幸せでした。老大に縁をもった喜びを抱きながら、同窓会員とし



「長寿センター」に
飾られている大花瓶

H23・2・15 撮



「き大贈婚の思ひ出」

元老人とて、組合会会長

文 蔵 家 純

ている伊藤雪雄、三原研田、嶋岡孝夫、辻与左衛門、西尾千秋、大西忠左、北村寿三各先生ならびに県立短大諸先生のご奉仕には満腔の感謝を捧げたい。

校章、校旗、校歌の制定や学生による模擬県議会の開催など思い出は尽きない。

レイカディア振興財団の設立によって大学校運営の基盤が確立されたことは喜ばしい限りである。

結成十周年を迎えられた同窓会の一層のご発展を祈念すると共に、建学の精神に基づく地域老人福祉推進の担い手としてのご活躍を切に希望します。

十周年を祝しながら

○県老大との縁を喜び誇りをもって
みなさんに、県の老人大学校であり、県が開設する学校は全国に五校しかないことを口にした。これは、昭和五十三年の開校に当って、無から有をうむ如き労苦をされた広瀬亮誠先生（老犬受託法人県老く連事務局長）から聞き受けたことでしたが、県の発想のすばらしさの伝達でもあり、老犬に縁をもった喜びと誇りの表現でありました。

開校当時は、文部省教育課程審議会が、生涯教育のことを答申してから、すでに十数年近い時が経過して

いながら、誰が何をどうするかと言う議論が出るまでには到っていないのです。そんな時世に県が全国的にも優先して開校されたのですから、すばらしい事業だったのです。この事業をふまえて、みなさんと共に誇りをもって前進したことは、お互いの幸せでした。老犬に縁をもった喜びを抱きながら、同窓会員とし

平成2年度 会計収支決算報告

(収入の部)

区 分	予 算 額	決 算 額	差引増減額	摘 要
会 費	685,000	754,000	69,000	
繰り越し金	499,780	499,780	0	
雑 収 入	27,500	11,122	16,378	
合 計	1,212,280	1,264,902	52,622	

(支出の部)

区 分	予 算 額	決 算 額	差引増減額	摘 要
報 償 費	60,000	60,000	0	
旅 費	80,000	57,122	22,878	
会 議 費	50,000	114,652	64,652	
食 料 費	40,000	102,542	62,542	
賃 借 料	10,000	12,110	2,110	
総会研修活動費	660,000	577,64	602,236	
助 成 費	110,000	57,764	52,236	
印 刷 費	500,000	0	500,000	
賃 借 料	50,000	0	50,000	
慶 弔 費	80,000	42,469	37,531	
役 務 費	25,000	43,238	18,238	
通 信 費	25,000	43,238	18,238	
需 要 費	30,000	25,200	4,800	
印 刷 費	20,000	13,500	6,500	
消耗品費	10,000	11,700	1,700	
退職積立金	10,000	10,000	0	
10周年積立金	200,000	0	200,000	
予 算 費	17,280	0	17,280	
合 計	1,212,280	410,445	801,835	
繰り越し金			854,457	

監査の結果、収入、支出ならびに帳簿等が正確であると認めます。

平成3年4月20日 岡田富次郎 中谷清司

會報 9 号 同窓会結成 10 周年記念号より抜
粋

老大創設の思い出」

元老ク連会長

広瀬 亮誠

○ 当時、全国各地で寿大学とか老人大学の
名のもとに小規模な講座は開かれていたが、
県立の組織的なものとしては兵庫、福岡、
千葉、埼玉の 4 県にすぎなかった。近隣の
兵庫「いなみ野学園」は県立農学校跡に早
くから設置された全国一の規模をもつ立
派なものであるが、モデルにするにはあまり
にも大きすぎる。

○ そこで県の担当者に随行して千葉県庁を
訪ね、同県福祉事業団の運営する県老人
大学校を視察、施設設備、運営組織、予算
教務、講師、カリキュラム等について詳細な
説明を受け、関係資料を頂戴して帰県、同
県をモデルとして滋賀県版を作製し学生募
集が始められたのである。

滋賀

兵庫

千葉

埼玉

レイカディア大学

いなみ野学園

千葉県生涯大学

彩の国いきがい大学

2年制

4年制

2年制

2年制

(2年制50名)

(通信制500名)

(1年制有)

年間募集(1学年)

215名(S22)

392名

1935名

780名

授業料

50,000円

50,000円

18,000円

21,000円

(通信制4,000円) プラス(諸経費4千円)

(自治会費3千円)

予算措置

71、854千円 247、451千円 311、329千円

(内社協9,580千円)(内140,151千円)

(注) ①千葉 ②兵庫 ③栃木140,151千円 ④滋賀

10,000千円以下の少額都道府県(東京・京都など)

ゼロ13都道府県

人口

140万

558.9万

621.7万

719.5万



平成4年6月 発行

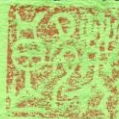
會 報

✓ 第 10 号

平成3年度



滋賀県老人大学校同窓會



H4・6・12 定期總會

於・彦根老人福祉セン

ター

(会員数は980名)

第15期生入学式

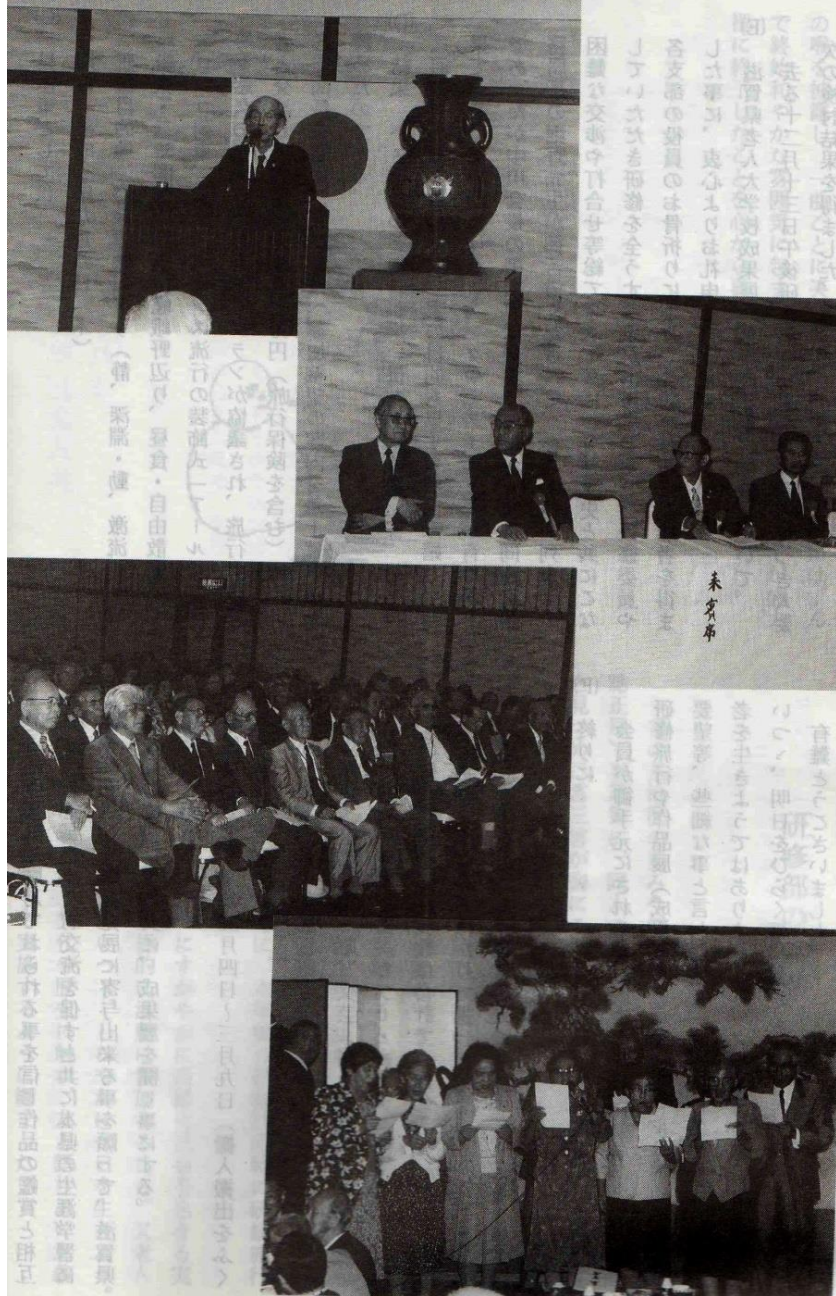
於・米原校舎大ホール

大津校 105名

米原校 86名



10周年記念会同窓老人大学県賀



老大同窓会結成十周年記念式典 盛大に挙行される

実行委員 高野 惣平

滋賀県老人大学校同窓会結成十周年記念式典が、平成三年十月五日大津市におの浜、アヤハレクサイドホテルにおいて開催され、県下八支部から出席者二九二名、来賓として滋賀県老人大学校長代理、副校長鎌田昭二郎、滋賀県議会副議長桑野忠氏他三名のご臨席を賜り盛大に開催されました。顧みますと、平成二年七月十八日、同窓会十周年記念事業実行委員が開催され、当日の第一回委員会において、種々討議の結果次の事項が決定された。

一、記念式典 日時 平成三年十月五日

場所 大津市内

二、記念号同窓会報の発行 全員投稿のもの

三、母校へ記念品贈呈 青銅製大花瓶

四、記念事業協賛金 記念事業趣旨書による募金

以上四項目が決定され、実行委員の業務分担が決まり、準備にかかることとなった。会場確保のため、大津市内の公共的施設及び、ホテルに予約のための交渉に歩いたが一ヶ年以上も先の日時であるが既に予約済であったり、飲食を伴う会合には貸さないとかで不可であったり、予算上の点で駄目となったりしま

した。その後何回か協議を重ね紆余曲折を繰返しながら、役員が連絡を密に乍ら協力し合った。中川同窓会長の指示のもとに、それぞれの分担業務に従って努力し、特に老大事務局の堀野徳雄氏の援助によるが多かった。

当日は幸い好天に恵まれ、記念式典は、定刻大津支部長の司会で始まり、中川会長より、母校に対し記念品の花瓶が贈られ続いて、会員で老建学の精神に則り地域の指導者として、優秀な業績を納められている者に対し、表彰状を授与された。中川会長の式辞には満場の惜みない拍手が沸いた。来賓の祝辞は県老人大学校長代理として副校長を始め、前老大校長代理及び滋賀県議会桑野副議長より力強い励ましの言葉があり、一同感銘した。

第二部の会員意見発表に移り大津支部正岡吉三郎氏より永年に亘る地域社会に対する貢献と、高齢者で優れた技能と豊富な経験を生かし、老人の生きがいとして働らく希望者のシルバ人材センターの就労斡旋について発表があり、次に高島支部、三矢博子さん、彦根愛犬支部濱野喜三郎氏の両名から過去と現在における活動状況と実績の発表があり、最後に老大校歌を斉唱し記念式典並に会員の意見発表を終了した。

懇親会は別室大広間において開催、中川会長の開宴の挨拶に続いて大津支部第一期生吉田貞雄氏の発声で乾杯した。懇親会において、会員の隠し芸としての出演者は手品、仕舞、民謡、

彦根・愛犬支部活動状況

彦根愛犬支部活動状況

支部長 野中 正

彦根愛犬支部も第十二期生を迎えて一九名の会員数に成り各自がそれぞれの地域において地域の発展更に会員相互の親睦を図るため、お互に努力して居られることと存じます。

平成三年度支部行事についてご報告致します。

三年度支部総会は愛知郡にてお世話して頂く順番にて計画していただきました所湖東町福祉課のご好意並びに地域の役員様方のご努力により、湖東町ブラチナハウス内教養娯楽室に於いて、総会を開催することに相成りました。

同窓会憲章朗読に始まり、定義ながら諸報告、収支決算等承認。終了後は懇親会を開き終日やかな雰囲気盛会裡に終りました。ご来賓として中川同窓会々長には遠路の所ご臨席賜り更にご祝辞を頂き誠に有難く厚くお礼申し上げます。

総会に際しては湖東町福祉バスにて送迎して頂き有難くお礼申し上げます。

県同窓会研修部による研修旅行は九月に実施されました。保津峡下り嵯峨野散策で支部でも多数の参加者が有りました。今後の催し等については何らかの方法で連絡致し度、多数のご参加をお願い致します。

県同窓会創立十周年の記念式典が十月大津市アヤヘンクサイドホテルで挙行されました。会場の関係上、当支部より二十五名の方が出席され、その席上地域功労者として三名の方々が晴れの表彰を受けられました事は喜ばしい次第でありお祝申し上げます。

会員の皆様、本部支部の行事には格段のご協力をお願い致します。当支部も地域の関係上充分な連携も出来ずご迷惑をかける事と存じますが、今後は連携を更に密にし、同窓会発展のため努力致します。

何とぞ会員の皆様宜しくご推察賜り、ご指導ご鞭撻の程お願い致します。

本年度支部役員左の通りです。

支部役員名

支部長	野中 正
副支部長	辻 幸夫
会 計	川村 順茂
事務局	中島藤五郎
幹 事（愛知郡）	北川弥一郎
"	上原繁太郎
"	藤井 正之
"	元持孫太郎

（大上郡）

平成5年9月 発行

會 報

第 11 号

平成4年度



滋賀県老人大学校同窓會

H5・7・30 「長寿社会福祉センター」完成、大津校舎を移転

H5・9・6 定期総会
於・草津新校舎

H5・10・1
老人大学から
「滋賀県レイカディア大学」に





校章の由来



○ デザイン制作者 滋賀大秋元幸茂教授

○ レイカディア構想が指し示す自然・環境・人間の活気にみちた長寿社会の創造を指標に、人間の限らない「夢の飛翔」を象徴する紙飛行機をデザイン化

○ またこの年、レイカディア賛歌の作曲が公募された（芥川賞受賞作家の高城修三氏作詞）

○ この平成5年（創立15年目）は飛躍の年



この年(H5.10 レイカディア大学に改称)







滋 賀

- H4・3 琵琶湖ヨシ群落保全条例 成立
- ・6 長浜ドーム完成
 - ・8 県完全週休二日制
 - ・11 安土城考古資料館開館
- H5・4 琵琶湖ラムサール条約登録
- ・8 長寿社会福祉センター開館

政 治・経 済ほか

- H4・9 毛利衛、米シャトル成功
- H5・6 皇太子結婚式
- ・6 武村正義氏、新党さきがけ結成
 - ・8 細川連立内閣



十五星霜 滋賀県老人大学校と同窓会

同窓会長 中川 長三

輝く平成五年のはじめ、皇室の御慶事に国民斉しく満腔の祝意を表し奉る。クリントン新政権の「国家のために苦難をのりこえて最大の協力を惜んではならぬ」とは、日本の民主主義強化への至言でもある。まさに萬物伸長の春、待望久しく十五年、悲願をこめた滋賀県老人大学校、威容堂々の新校舎殿堂が、草津市南笠町新池地先に完工出現。見上げるよるこび何にたとえようか、このよるこびを待てなかった逝きし同窓諸兄姉に思いを馳せれば感無量のものがある。生かされてこの盛運に遭い得た全会員の皆さんと双手をあげて高らかに母校の弥栄を祝おうではないか。会報第十一号に集う会員の多幸を祈りつゝ。

すぎこし十五星霜の母校並びに同窓会の歩みを校誌（大学）及び会報、議事録（中村副会長の）等を参考につづってみたい。

滋賀県老人大学校は、昭和五十三年七月十四日、建学の精神を高くかかげて盛大に開校式が挙行されたが、ご承知のように校舎も教室も施設設備のない大学であったが、この開校に当っての県当局所管課（藤野氏）、委託をうけた滋賀県老人クラブ連合会の広瀬局長（校誌「大学」の表紙揮毫）や老大的国松事務長（同窓会報の表紙の揮毫）などの一方ならぬご苦労を心から多としたい。かくて昭和五十五年度は県費九百四十八万円の支出。学校長は武村正義知事。副校長は品矢静雄県厚生部長で現校長稲葉稔知事及び（川村仁弘）副校長は昭和六十一年七月の就任。県費支出も五十八年度は九百八十五万円、平成四年には四千二百四十四万七千円となった。開校当初何一つない名ばかりの大学に校舎教室を貸して下さったり通学の便をおしみにくを与えて下さった、八幡市当局のご厚意は今に忘れぬ感激そのものである。

講師も専任は一人もなく兼任一点張り、しかも遠方からのご出講、今もそのままの状態で立派な先生にどんなにか大きいご負担であることか。これら数々のご苦労を学生は身にかみしめて苦難に耐えて寒い日など暖房のない部屋で身を寄せ合って震えながらの勉学に動しんだが六十五歳以上の老人よくもたえられたものと今更感慨無量だ。

研修旅行などで他府県の老大を見る度になんとかならぬかと昭和六十一年十一月一日苦労した九五二五人の署名と県会議員八名

の紹介の請願書を知事と県議会議長に提出。米原校が設立されいささか「南高北低」とも関連してか北の学生に福音となった。

また昭和六十一年十二月五日模擬議会を開いて母校の発展は県政への大きな貢献と胸張った。こんな老大のシンボルの校旗が燦然と樹立された時の感激は今も臉にのこっている。胸間にきらめくバッチを誇りに蛍雪の功を一つづつ積みかさねて行った。

伊藤雄先生作詞の校歌遠深遠幽の中に高らかに建学の精神とわれらの行方を指さされ志気をいかほど鼓舞されつゝ今日に至っている。

老大の進展と相呼応してわれらの同窓会は開校二年後の昭和五十五年九月二十二日、二年課程福祉学科修了者十一名、二年進学者六十九名、第二期入学生八十名計百六十名の少数精鋭が誇りをもって草津会場に参集して結成をうたい上げたのであった。

爾来同窓会憲章（昭和五十七年三月八日制定）を高らかに掲げつゝ、会員一致団結して活動したが県下一本体制の同窓会でなくそれぞれ地域のローカルカラーを満喫した支部経営めざして八支部の結成となった。

「大津」支部支部長 菟原忠男。「湖南」(草津・守山・滋賀郡・栗太郡・野洲町・中主町) 伊藤博祐。「甲賀」(丸市喜好)。「湖東」(八日市・蒲生郡・神崎郡) 畑中保治郎。「近江八幡」(小西一郎)。「彦根愛犬」(彦根市・愛知郡・犬上郡) 近藤辰次郎。「湖北」(長浜市・坂田郡・東浅井郡・伊香郡) 宮崎程彦。「高島」(岸田七次) これら各支部は支部長を中核に僚友の団結も堅く地域老人指導の先陣をうけたまわって活躍をつづけ高い評価をうけつゝあること自他ともにゆるす存在である。

本部機構も、総務部（総括・企画・渉外）。広報部（調査・会報）。研修部（研修）。に改めてそれぞれのベテラン部長の敏腕に花盛りで他の同窓会には見られぬ行事を展開している。会報も第十一号となったが林部長はじめ部員諸君の苦勞を思うこと切なものがあり、全会員全投稿と会員名簿の合編はその特色だろう。

研修事業もびわこバレー、比叡山延暦寺宿泊行、奈良少年刑務所、自衛隊（陸上・海上）、京都嵯峨野紀行、高松塚遺跡探訪等枚挙に暇なき研修の深さを会員の胸に幾多のこしていることである。同窓会バッチが出来てどこへでも、滋老大卒業生の誇りを持ちつづけている。その他、年間二・三回程度の公開講座が開かれる。もう何回になったか会を重ねるたびに益々盛大となりいつも満堂立錫の余地なき盛況で名士・学者・芸能家・評論家等あらゆる世界から超一流の講師を招聘してバラエティーに富んだもので、

中川会長挨拶文より抜粋

○昭和61年11月1日苦勞した95
25人の署名と県会議員8名の紹
介の請願書を知事と県会議長に
提出。米原校が設立されいささか
“南高北低”とも関連してか北の学
生に福音となつた。

○老大のシンボルの校旗が燦然と樹
立された時の感激は今も瞼にの
こつてゐる。胸間にきらめくバッチ
を誇りに蛍雪の功を一つつつ積み
重ねていった。

平成5年度 滋賀県老人大学校同窓会役員名簿

役職名	氏 名	住 所	〒	☎	備考
会 長	中川 長三	東浅井郡びわ町曾根 1304	526-01	0749-72-2382	
副会長	中村 標雄	大津市馬場 1 丁目 3-32	520	0775-23-1906	
支 部 長 理 事	高 遠藤 滋	高島郡新旭町旭 862	520-15	0740-25-2816	総務
	島 鎌田 成治	高島郡安曇川町青柳 2032	520-12	0740-32-3009	研修
	大 下司 清	大津市際川 2-4-29	520	0775-25-0713	研修
	津 磯田 善通	大津市神領 3-21-13	520-21	0775-45-0482	広報
	湖 藤本 龍三	草津市野路 136-48	525	0775-62-4732	総務
	南 中村 勝一	守山市吉身 1 丁目10-48	524	0775-82-3471	広報
	甲 島田寅次郎	甲賀郡水口町元町 8-20	528	0748-62-2435	研修
	賀 千代倉太郎	甲賀郡甲西町中央 2 丁目	520-32	0747-72-2964	広報
	湖 野沢 政次	蒲生郡日野町内池 521	529-16	0748-52-2551	広報
	東 木俣 信一	八日市市上豊浦 1283	529-16	0748-46-5010	総務
	近 安倍 勉	近江八幡市馬淵町 1738	523	0748-37-7011	総務
	八 村井 繁	近江八幡市杉森町 225	523	0748-37-0869	研修
	彦根 野中 正	彦根市平田町 67-6	522	0749-23-3387	研修
	愛知 西堀 嘉一	愛知郡湖東町勝堂 1131	527-01	0749-45-2216	広報
	湖 森 量海	長浜市常喜新町 281	526	0749-62-3910	総務
監 事	北 松下 保清	坂田郡米原町三吉 36	521	0749-54-2395	研修
	中田 芳雄	神崎郡能登川町小川 1290	521-12	0748-42-2234	
幹 事	田井中元一	神崎郡能登川町福堂 3470	521-12	0748-45-0076	
	中村 標雄	上記に同じ			
会 計	堀野 徳雄	大津市竜が丘13-84	520	0775-67-3901	電話 は事 務局
	森安 孝子	近江八幡市堀上町 159-16	523	0775-67-3901	



本年度支部役員名左記の通りです。

支部長	野中 正
副支部長	辻 幸夫
会計	川村 順茂
事務局	中島 藤五郎
幹事(愛知郡)	北川 弥一郎
〃	上原 繁太郎
〃	辰巳 佐一郎
〃	西沢 正三
〃(犬上郡)	浜野 喜三郎
〃	西山 弥一郎
〃	杉本 文治郎
〃(彦根市)	井戸 弥一
〃	西田 吉男
〃	磯貝 澄雄
〃	小堀 吉夫
〃	山本 正雄
〃	若林 秀光
会計監査	

海外、国内研修旅行計画の説明、会報十一号の編集につ

き説明、原稿募集方法等について協議。支部長出席。

7. 支部役員会 二月四日 (延命荘)

会報十一号個人原稿取りまとめ、その他につき協議。

8. 会報編集会議 二月十二日 (滋賀会館)

支部長出席。支部活動状況および一般原稿(二十一名)を提出。

彦根愛犬支部活動状況

支部長 野中 正

新らしく第十三期生を迎えて会員数も百四十四名に相成り会員の皆様それぞれの地域に於いて相協力し地域の発展更に会員相互の親睦を図り更に充実した同窓会支部育成のため支部会員の皆様相協力し運営に格段のご協力をお願い致します。

平成四年度支部事業等を報告致します。六月三日支部総会を開催。本年度は彦根当番にて彦根老人福祉センター内において中川県老大同窓会会長をお迎えして、同総会憲章の朗読に始まり、定議ながら諸報告後承認を得、中川会長より祝辞を賜り終

了後懇親会を開き盛会裡に終わりました。

六月十三日平成四年度県老大同窓会総会を彦根市老人福祉センターに於いて県下各地より会員百二十名が出席。足田彦根市老人クラブ連合会長、大塚老人福祉センター所長を来賓にお迎えし、中川会長の祝辞に始まり、中村副会長議長により諸議事承認後、堀野先生の記念講演を拝聴。校歌斉唱高らかに閉会。懇親会に移り盛会裡に終了しました。

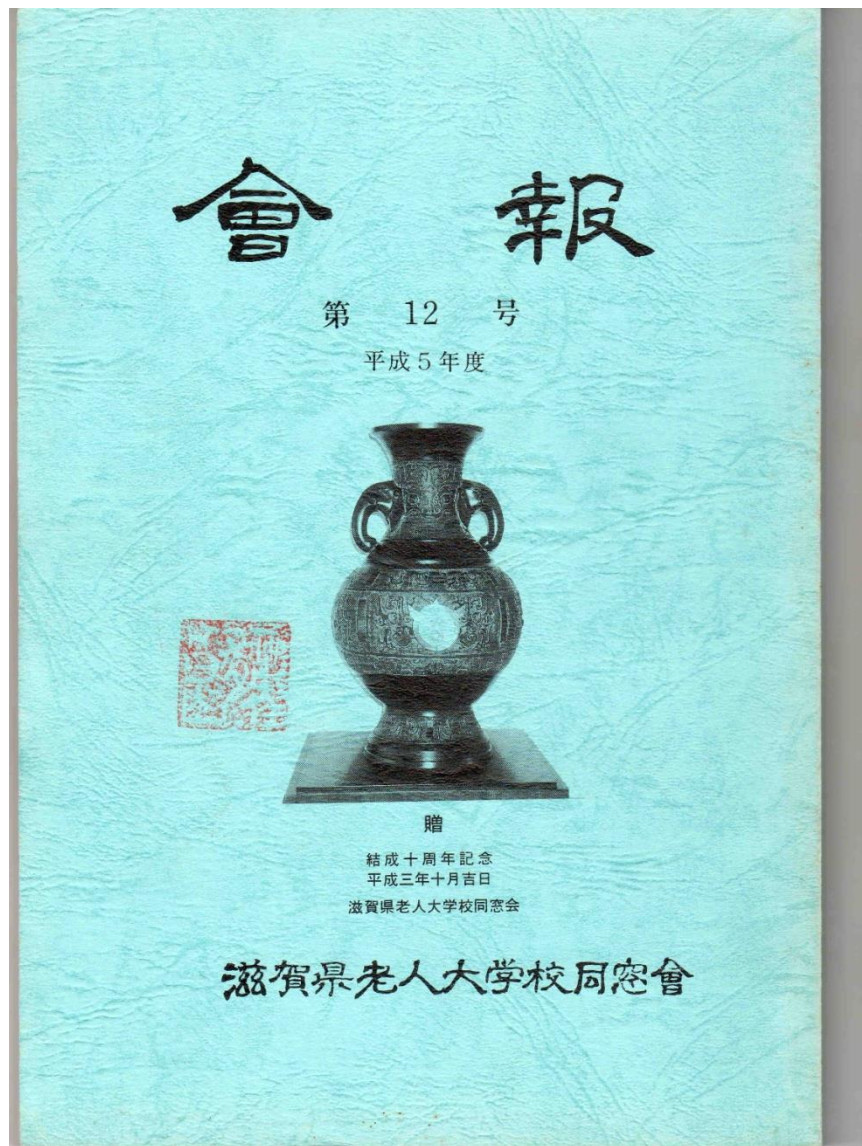
当日は当支部の役員の皆様には大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

尚当支部中島藤五郎氏が地域活動の功績により表彰されお喜び申し上げます。六月十二日

十月一日県老大同窓会研修部による研修旅行(バス)にて奈良方面へ実施されました。当日は当支部より多数の参加者があり天候にも恵まれ良き研修で有り、今後共有意義な研修旅行が計画されます皆様のご参加をお待ち致します。

その他については県同窓会の諸行事会議事項等は速やかに役員様迄連絡させて頂きます。何卒格段のご協力をお願い致します。地域の関係上充分な連携も出来得ず、三ブロック制の計画も早急に実施する様に努力致しております。いま暫くお待ち願います。

平成6年7月 発行



H6・3・26 「レイカディア賛歌」制定

H6・7・11 定期総会
於・長浜「浜湖月」(160名)

H6・9 同窓会海外研修旅行
中国華南方面

15期卒業 167名

17期入学 草津123名・米原89名

滋賀県老人大学校

作品展

期間 八月十八日～八月三十一日
一般歓迎・入場無料

平成六年度
滋賀県レイカディア大学校 米原校

作品展開催式次第

- 一 開式のことば
- 二 来賓紹介
- 三 あいさつ
- 四 来賓祝辞
- 五 指導講師のことば
- 六 テープカット
- 七 スポットレクリエーション学科実技披露
- 八 閉式のことば

平成5年制定の校章







彦根愛犬支部活動状況

支部長 野中正

私達の支部は皆様もご承知の通り東は湖東山系より西は琵琶湖畔迄の広い範囲の地域で会員の皆様は地域の発展と会員相互の連携のため、日々活躍されていることと存じます。

平成五年度の行事についてお知らせ致します。

五年度支部総会は本年は犬上郡の役員様のお世話により六月十五日多賀町多賀大社参集殿に於いて開催する事に相成りました。中川県老大同窓会会長をお迎えして出席者一同神前において長寿祈願を終えて参集殿にて総会を開催。同窓会憲章の朗読に始まり定義ながら諸報告、収支決算報告等承認さる。動議事項として支部は地域的から見ても彦根市、犬上郡、愛知郡を三ブロックにしそれぞれの分野で地域に合う行事を行なうてはとの意見が有り今後の課題として検討する事に相成りました。

来賓の中川会長よりはご丁寧なる祝辞を賜り厚くお礼申し上げます。総会終了後懇親会を開き盛会に終了致しました。

例年催されています、在校生、卒業生の趣味作品の成果展は本年より県立長寿社会福祉センター内で開かれしました。会員の皆様作品の展示には今後共よろしくご協力をお願い致します。

皆様もすでにご承知の通り草津市南笠町に県立長寿社会福祉センターが完成され同建物内に老犬の教室等も出来大変環境の良い所です。皆様も一度見学されては如何がですかお知らせ致します。

県老大同窓会五年度総会は九月六日に長寿社会福祉センター内大教室で県下各地より多数の出席が有り当支部も多数の出席が有り諸行事等終了盛会に終りました。

十一月には研修部よりバス日帰り京都八瀬方面の研修旅行が実施されましたが当支部よりの参加者が少く今後は皆様のご協力をお願い致します。

平成五年度行事報告は終わります。何分にも充分とは申し上げられませんが、皆様のご理解を賜り度、今後は皆様のご期待に添える様努力致します。何とぞ会員の皆様宜しくご推察賜りご指導ご鞭撻の程お願い致します。

本年度支部役員は左記の通りです。

支部長 野中正
副支部長 辻幸夫
会計係 川村順茂
事務局 中島藤五郎

平成6年度 会計収支予算(案)

(収入の部)

区 分	本年度予算額	前年度決算額	摘 要
会 費	1,163,000	992,000	1,000円 × 1,163人
総 会 会 費	320,000	0	2,000円 × 160人
義 越 金	872,250	917,858	
雑 収 入	4,750	6,773	預金利子 他
合 計	2,360,000	1,916,631	

(支出の部)

区 分	本年度予算額	前年度決算額	摘 要
会 費	150,000	150,000	講師謝金 その他
総 会 会 費	50,000	6,820	役員会旅費
食 料 費	410,000	-	
食 料 費	350,000	-	総会弁当及び飲物 × 160人分
賃 借 料	60,000	-	会場借り上げ料
会 議 費	80,000	77,540	
食 料 費	80,000	70,140	役員会 1,000円×20人×4回
賃 借 料	0	7,400	
研 修 活 動 費	1,200,000	717,500	総務 100,000円
助 成 費	0	20,000	研修 300,000円
広 報	0	697,500	広報 800,000円
電 弔 費	30,000	26,024	
事 務 費	90,000	66,497	
通 信 費	50,000	42,910	
印 刷 費	10,000	0	
消 耗 品 費	30,000	23,587	
予 備 費	350,000	0	
合 計	2,360,000	1,044,381	

平成7年5月 発行

會 報

第 13 号

平成6年度



贈

結成十周年記念
平成三年十月吉日
滋賀県老人大学校同窓会

滋賀県レイカディア大学同窓会

H7・4・25 南座「歌舞伎鑑賞
教室」

H7・6・1 定期総会

於・安土やすらぎホール

H7・8・4～先進地老人大学同
窓会活動視察

H7・10 18期生入学

米原校 81名

草津校 113名

湖東支部活動狀況

支部長 木俣 信一

一、支部役員紹介

支部長 木俣 信一（安土町）

副支部長 中田 芳雄（能登川） 高木 新蔵（八日市）

監 事 溝井 常夫（安土町） 大沢幾之助（日野）

庶務會計 大沢 行雄（安土町）

一、会員数 一四五名

市町名	男	女	計	各市町理事
八日市	九	八	一七	武久四郎
安土	一二	五	一七	善住喜録
蒲生	七	一	八	板岡久右門
日野	一七	四	二一	田口敏之
竜王	二三	一〇	二三	西村泰蔵

永源寺	五	〇	五	松吉良清
五個荘	一六	四	二〇	塚本次郎
能登川	二一	一三	三四	矢嶋昇治
計			一四五	

本部での役員のみのは行事は省略致します。が支部独自の事業としては、最近これと云った事も無く、年二回の役員会を行う程度で色々御意見やご希望をお聞きし乍らもなかなか実行に及ばず力のなさを痛感致しおる様な現状ですが、会員も年々増加し年齢的にも若い方が多くなって参りましたので、今各町に於ての連絡を密にして、それぞれの計画を実行されてその集りが支部の活動として結集されればと思ひますが、現実、大学へ入学される方々の共通するものを掴む事がむづかしく、昔はゲートボール大会も行はれましたが、これも一部の限られた方になり（地域の差はあるが）卒業生でのチーム編成もむづかしい町もあり、之も共通する事とも云いがたく、私の町の事で申訳ありませんが、十七名の会員中三名のみと云う現状で只今の在校生を入れて一チーム何んとかと云う事でその節はと楽しみにしております。と云って何もしない訳にもゆかず本年は早やい所で日帰り旅行が出来れば一泊でもと考えております。前回

議第一号 平成六年度事業報告及び収支決算報告

四、平成六年度事業報告 二〇 役員会開催

- 一 会長、副会長辞任に伴い、選衡委員で選衡
・その結果 次の通り選出される。
会長 安倍 勉（近江八幡支部）
副会長 森 量海（湖北支部）

二 各支部の概要報告

- ・定期総会の開催 七月上旬 湖北
- 支部担当 出席者の割り当て及び負担金の額決定

被表彰者の具申

研修、親睦旅行の考え方
広報部より会報発行の内容説明

- 三 新年度の事業計画及び予算案策定
五月中旬の理事会で審議決定する
- 四 退会の会長、副会長に記念品贈呈決定

五、一六

研修部会の開催――研修旅行の具体化

・国内旅行 八月二十六日 三重祭博九四
費用 九八〇〇円

・国外旅行 九月十九日～二十三日
旅行先 香港 桂林 広州 香港 費用
一九八〇〇〇円

申込料 五万円（参加人員十五名以上）

・総務部会開催

・理事会に提案する諸案件の審議決定

・役員会の開催

・定期総会に提案する諸案件の審議決定
（決算、予算、事業計画、被表彰者選定、
会則一部改正案）

・総会に出席する人員の割り当てと負担金の決定

・会則十二号最終校正

・定期総会の開催
会場 長浜市、浜湖月（担当、湖北支部）

七

（四：並単）

・ 出席人員 一六〇名 来賓（副校長、老連
事務局長）
・ 講演、長浜市民交流センター

「演題 三原栄一所長
人生航路八〇年共に生き共に生か
されて」

八 祭博三重九四
二六 公開講座受講
（参加者七〇名、バス二台分乗）
（講師 邦光史郎氏
近江の都について）

九 成果展の開催
一四、一九
（前日と最終日に展示品の搬入
搬出）

九 十五期生卒業式
二七
（会長出席）
一〇 十七期生入学式
三三
（会長出席）

・ 役員会の開催（会場 大津のぞみ荘）
・ 同窓会の運営全般について意見交換

一 総務部会開催
一九
・ 総会の要望事項のとりまとめ
・ 総会の要望事項の文面整理検討

・ 先進地の調査を踏まえて慎重に検討し要望する。
・ 広報、研修部会の開催

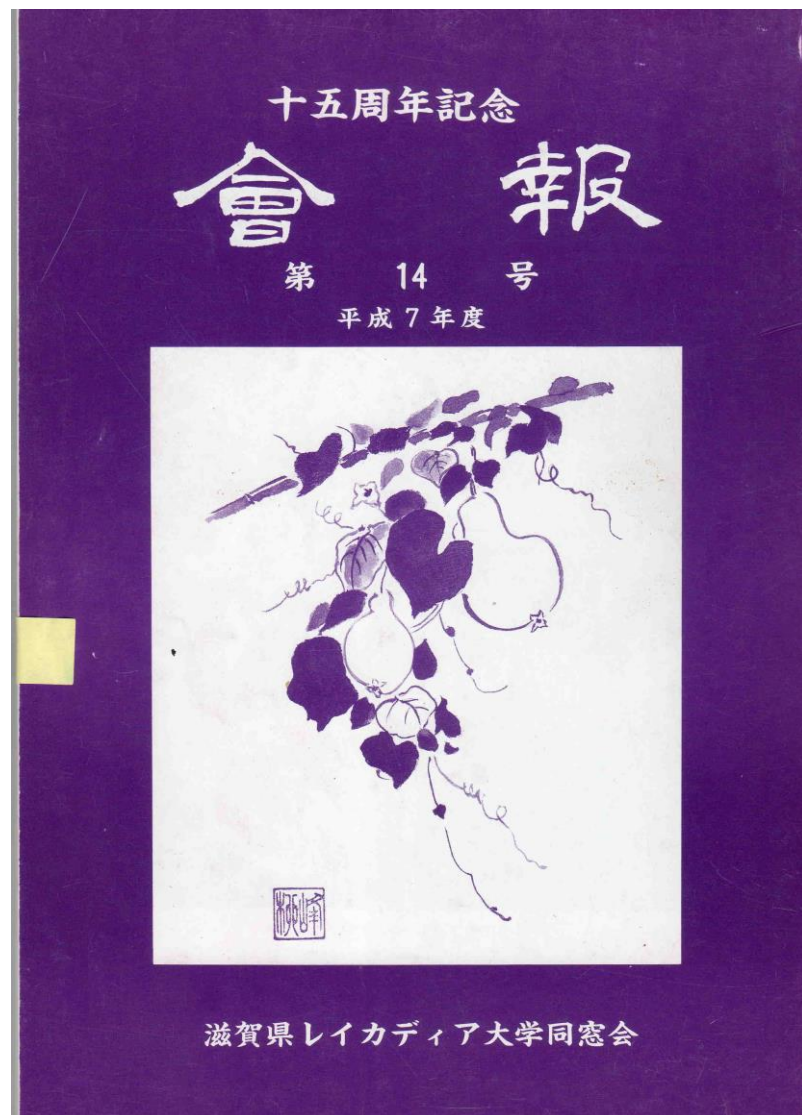
一 会報編集計画の具体化について説明
三〇
・ 研修部は時局柄国外研修は中止する。
・ 国内旅行は一日予定で秋に実施する。

・ 公開講座受講
・ 講師、東大 木村武二氏（動物の性、人間の性
について）

三 会報原稿支部集め
四
本部に提出

（特に名簿に誤記のないよう留意
する）

平成8年5月 発行



H8・6・4 「同窓会発足十五
周年記念総会」

於・八幡県立女性センター

(参加250名)

(会員数1553名)

H8・11・7 研修旅行

福井一乗谷・武生菊人形

(バス三台)

H8・10 19期生入学

米原校 84名

草津校 138名

平成9年11月 発行

會 報

第 15 号



滋賀県レイカディア大学同窓会

H9・6・10 定期総会

於・大津アヤハレークサイド

ホテル

5・30 安倍会長逝去

会長に野中氏・副に門馬氏

湖東支部と改称

H9・10 20期生入学 86名(米原校)



湖東支部

支部長 辻 幸夫

当支部の第一の楽しみは新入会員の歓迎会である。

今後の予定講演会として、びわ湖について、水産試験場・気象台・彦根市役所をお願いしたい。又湖北の歴史を尋ねたい。

生花・お茶・習字・俳句・俳画・手芸・カロム・談話教室を予定している。学区別一四学区、男一八名、女一〇四名。

湖東支部地区別会員数

	地区名	男	女	計
愛知郡	湖東町	11	11	22
	秦荘町	11	3	14
	愛知川町	10	10	20
	愛東町		1	1
	小計	32	25	57
犬上郡	甲良町	19	8	27
	豊郷町	4	6	10
	多賀町	7	2	9
	小計	30	16	46
彦根市	東中学区	16	17	33
	西中学区	3	9	12
	中央中学区	10	6	16
	南中学区	8	9	17
	彦根中学区	2	3	5
	鳥居本中学区	6	2	8
	稲枝中学区	11	17	28
	小計	56	63	119
合計		118	104	222

平成9年10月現在

また、正副会長、本部理事、会計監査、幹事（庶務・会計）等によって運営委員会を構成し、執行部としての役割を果たす等の体系的な整理をしました。

従って常任委員の人数が支部と分会の一本化により倍増することになり、役員会の形や回数も当然変わることになりました。

③支部会報の発行

（別紙役員名簿添付）

同窓会の運営上最も基本的にして重要な事は、すべての会員に、会の動向や行事、会計面の諸情報が必要ならざる届けられるということではないでしょうか。そうすれば、会に対する関心も高まり、積極的な参加も期待出来るのではないかと、その為には、地区別名簿をきっちりと整備して、すべての会員に配布することから始めるべきでしょう。

支部の行事や会計がどうなっているのか、誰が役員なのか、年一回の総会に出席しなければ全くわからないということでは、会費を納める価値がないのではないのでしょうか。せめて、その程度のことはすべての会員に知らせるべき義務と責任が執行部にはある筈であります。

遅ればせながら、平成九年度支部会報を第一号として、此の度発行することが出来ました。今回は「事務局だより」的な色彩が強く、改正新規約、前年度事業・決算報告、当

平成八年度に行った主な支部行事について、概要を報告致します。

①規約改正

支部活動を円滑、活発にする為、愛知・犬上・彦根の三ブロックに分けて実施することになって三年、夫々の分会活動を行う中で、役員構成が支部と分会の二本建てになったり、各役員の任務が複雑化したり、また県の理事の位置付け、殊に女性理事が支部規約の上で明確になっていない等色々問題点が顕在化してきた為、平成八年度から規約改正に取り組み、九年度定期総会で正式に決定を見ました。かなり大幅な改正となりました。

②組織運営と役員構成

規約改正の目的は前記の通りであります、会員数の急増と地域分布の平均化に伴い役員の任務と役割、及び組織の上で、これに適切な対応が出来るよう規約改正をしたのでありますが、最も基本的な事は、全会員の連絡網の整備と情報の相互伝達が円滑に出来ることを主眼にした運営組織と、役員構成の整理を図ったことであります。即ち各地域に在住する会員を一定地区にまとめ、その地区の代表として役員（常任委員）を選出し、その委員は地区の用務を処理するとともに支部の重要事項を審議する決議機関としての常任委員会を構成する。

年度事業・予算等を羅列したに過ぎず、すべて手造りで経費も特別な予算計上して行ったものでありません。将来的には、他支部で発行されているような、内容の豊富な機関誌として発展させたいと考えています。

④分会活動の促進

支部会計の約半分、正確には当年納入された支部会費一人一、〇〇〇円のうち五〇〇円を各分会（愛知、犬上、彦根）に分会活動費として会費納入者数に応じて助成されている。各分会ではこれを唯一の財源として夫々独自の活動を行っています。その実施状況と会計報告は順次「支部会報」に掲載して、他の分会員の参考に供し、相互に切磋琢磨して、より積極的に有益な活動が出来るよう努めています。

彦根分会では、新入会員を迎えた十月か十一月に「新入会員歓迎会」を行っています。内容は、歓迎セレモニーの他、本会に対するオリエンテーションと講演会のあと、会食・懇親の催しで、一日和やかに楽しく過ごして割合好評を得ています。会員の半数近い人が出席されています。本年度三回目となりますが、来年度以降については少し検討してはと考えています。この催しを始める前、つまり今から三年前になりますが、全会員を対象にアンケート調査を行った結果、最も希望の多かった講演会をとりいれ、新会

員を迎えて地区別名簿の整備をした上で相互の顔繋ぎの意味も含めてこのような催しになったのであります。

【支部活動の報告】

新入会員歓迎会（平成八年度 彦根分会）

☆日時 平成八年十一月八日（金）十時～十四時

☆会場 彦根市老人福祉センター大集会室

☆出席者 会員 四五名 ほか講師

☆内容と日程

（一）歓迎式典 十時～十時二十分

・ブロック長（分会長）歓迎のことば

・本部副会長（野中氏）お祝いのことば

・新入会員紹介

・新入会員代表あいさつ

（二）オリエンテーション 十時二十分～十時五十分

・同窓会本部、支部の組織、運営、活動状況、問題点など

・彦根ブロック（分会）の組織と役員構成及び年間行事など

（三）講 演 十一時～十二時

演題 「男女共同参画社会の推進に向けて」

講師 彦根市企画部女性施策推進室長 中 文子氏

（四）会食・懇親 十二時十分～十四時

滋賀県レイカディア大学同窓会 湖東支部規約

第一条 本会は滋賀県レイカディア大学同窓会湖東支部（以下本支部という。）と称し、事務所を支部長宅におく。

第二条 本支部は、会員相互の親睦と研鑽をはかり、老人福祉の向上に資し、地域社会の奉仕活動に努めることを目的とする。

第三条 本支部は前条の目的を達成するため次の行事を行うことができる。

講演会、研修会の開催、奉仕作業、会報の発行その他

第四条 本支部は彦根市、愛知郡、犬上郡内に在住するレイカディア大学同窓会員をもって組織し、これを運営上、三ブロックに分け、それぞれ彦根分会、愛知分会、犬上分会と称する。

第五条 本支部に次の役員をおく。役員の任期は二ケ年とし、再任は妨げない。但し、補欠による任期は前任者の残任期間とする。

一、支部長 一名

副支部長 三名（各分会長兼任）

会計監査 二名

幹事 二名（庶務及び会計）

常任委員 若十名

は出席会員の過半数により決し、可否同数の時は議長がこれを決める。

一、総会は年一回開催する。会場は三分会輪番とする。

二、運営委員会は、執行部（正・副会長、本部理事、会計監査、幹事で構成）として必要の都度開催し、会務を処理する。

三、常任委員会は、次の重要事項を審議決定する。行事の計画、予算・決算、役員の選出、規約の改正等

第十条 本支部の経費は会費、寄付金をもって充てる。

一、会費は年間一人二、〇〇〇円とする。うち、県本部会費一、〇〇〇円を含む。

二、分会活動促進のため、会員数に応じて各分会の経費を助成する。

第十一条 本支部の行事及び会計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る。

第十二条 本支部規約の変更は、総会の議を経てこれを行う。

付 則 本支部規約は平成七年六月二十六日より実施する。

平成九年六月十四日一部改正

二、本部理事 三名（支部長及び副支部長のうち一名と公選一名）

第六条 役員の任務を次のように定める。

一、支部長は本支部を代表し、支部用務を統轄するとともに各会議を召集し、その議長となる。

二、副支部長は、支部長を補佐し、支部長事故あるときは、その職務を代行する。また、各分会の用務を統轄する。

三、会計監査は会計を監査する。

四、幹事は庶務・会計の任にあたる。

五、常任委員はそれぞれの地区会員を代表し、各地区の用務を処理するとともに本支部の重要事項を審議する。

六、本部理事は本部との連絡調整にあたる。

第七条 役員の選出は次のようにする。

一、支部長、副支部長、本部理事（一名）は支部総会において会員の中から推挙する。

二、会計監査、幹事は常任委員会において委員の中から推挙する。

三、常任委員は支部長が委嘱する。

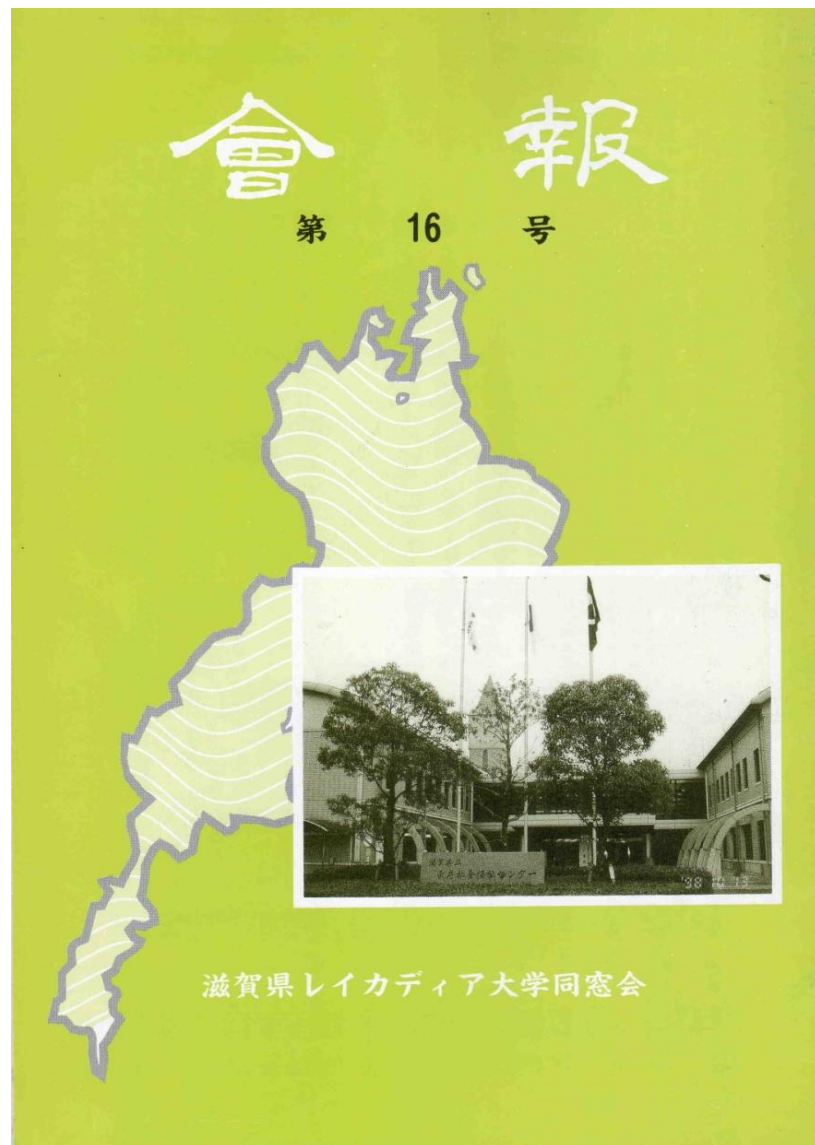
第八条 本支部は常任委員会の推挙により、顧問、相談役をおくことができる。

第九条 本支部に次の会議を設ける。各会議における議事

湖東支部 平成9年度同窓会役員名簿

支 部 長	氏 名	住 所	電話番号	備 考
支 部 長	辻 幸 夫	彦根市甘呂町 868	0749 28-1445	
副支部長	磯 貝 澄 雄	彦根市城町一丁目 2-39	22-5236	彦根分会長
〃	西 堀 嘉 一	愛知郡湖東町勝堂 1131	45-2216	愛知分会長
〃	西 沢 正 三	犬上郡多賀町木曾 183	48-0882	犬上分会長
県理事	大久保 輝 子	彦根市鳥居本町 1614	22-5101	
顧 問	野 中 正	彦根市平田町 67-6	22-3387	本部 会長
会計監査	福 原 範 彦	中 村 健 蔵		
幹 事	庶務 野 上 雄 三	会計 西 田 吉 男		
常任委員	沢 田 建 一	彦根市芹橋一丁目 3-19	22-4144	
〃	山 田 竹 蔵	彦根市佐和町 2-15	22-6523	
〃	北 沢 重 市	彦根市小泉町 720	22-3339	
〃	小 堀 吉 夫	彦根市平田町 185-22	22-9544	
〃	横 山 芳 子	彦根市芹町 1-10	23-1325	
〃	中 村 健 蔵	彦根市野田山町 441-2	22-8733	
〃	西 田 吉 男	彦根市西沼波町 724	22-2627	
〃	野 上 雄 三	彦根市大藪町 2008	23-6272	
〃	寺 村 真 蔵	彦根市宮田町 913	22-7591	
〃	小 林 龍 男	彦根市川瀬馬場町 765-1	28-0131	
〃	田 中 いさ江	彦根市清崎町 1773	28-0018	
〃	辻 みち子	彦根市三津町 291	43-3347	
〃	滝 沢 宣 子	彦根市稲里町 2184-1	43-2166	
〃	北 川 や ゑ	彦根市普光寺町 689	43-5687	
〃	山 田 佐太郎	彦根市石寺町 1180	43-2973	
〃	蔵 立 慶 夫	愛知郡湖東町大清水 218	45-2129	
〃	木 沢 ひ さ	愛知郡湖東町今在家 228	45-1731	
〃	辰 巳 佐一郎	愛知郡愛知川町愛知川	42-2732	
〃	森 野 久 章	愛知郡愛知川町長野 1780	42-3277	
〃	北 川 弥一郎	愛知郡秦荘町目加田 923	37-3378	
〃	福 原 範 彦	愛知郡秦荘町長塚 177	37-4381	
〃	清 水 章 三	犬上郡多賀町土田 52	48-1039	
〃	枝 村 和 次	犬上郡甲良町池寺 652	38-3063	
〃	川 並 稔 男	犬上郡甲良町下之郷 1227	38-2983	
〃	宮 尾 計	犬上郡甲良町尼子 552-5	38-2728	
〃	小 川 福太郎	犬上郡豊郷町八目 11	35-2106	

平成10年11月 発行



H10・6・11 定期総会

於・クサツエスパホテル
ル

事務局長・

常任理事新設

開校二十周年記念事業に新校
旗寄贈

H10年・10 21期生入学

72名

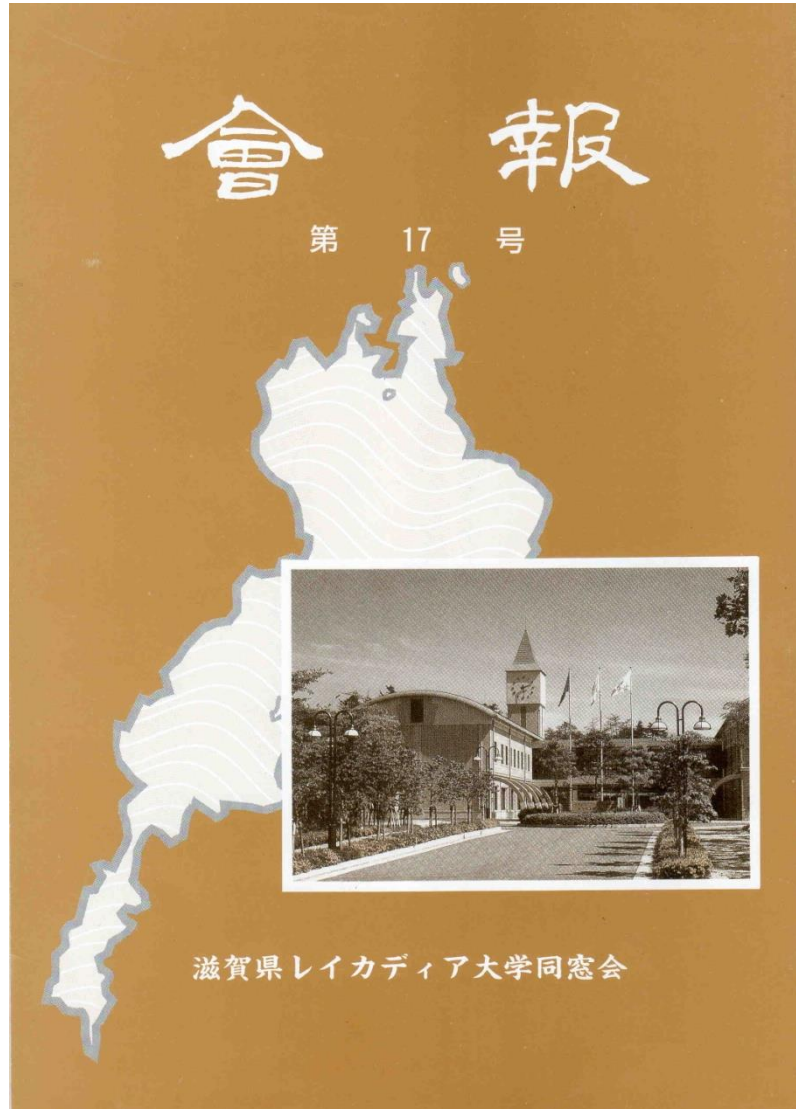


平成10年度本部役員及び各部構成員名簿

役 職	氏 名	電 話 番 号	支 部 名	生年月日	期	学科
会 長	佐々木 尚一	0748-32-5904	近江八幡・支部長	大 7. 2	11	園芸
副 会 長	門馬 三郎	077-522-9066	大 津・支部長	大 10. 5	11	文芸
会 計	谷 本 一 夫	077-523-1375	大 津	昭 4. 2	15	園芸
事務局長	奥村常治郎	077-564-3279	湖 南・支部長	昭 8. 6	17	文芸
総 務 部 (6名)	部長 志連政五郎	0740-27-1562	高 島・支部長	大 15. 4	14	スポ
	武久 四郎	0478-23-0216	中 部・支部長	大 10.12	11	園芸
	辻本 昇	077-587-0247	守山・野洲	昭 3. 9	13	陶芸
	伏西千代子	0748-33-0105	近江八幡	昭 2.11	12	生活
	小倉 清子	0748-62-9155	甲 賀	昭 2. 5	16	スポ
	沢井 民子	077-554-2477	湖 南	昭 4. 5	12	生活
広 報 部 (7名)	部長 岩井 典弘	077-582-4709	守山・野洲・支部長	昭 3. 6	17	園芸
	関 武	077-537-2093	大 津	昭 4. 6	15	文芸
	小川 常三	0748-37-0606	近江八幡	大 10. 5	8	文芸
	松本 芳雄	0749-52-3508	湖 北	大 15. 9	11	園芸
	林 茂 男	0748-62-5809	甲 賀	大 15. 4	14	園芸
	高橋賀恵子	0749-42-3413	湖 東	昭 4. 1	16	文芸
	野玉 一子	0748-22-2590	中 部	昭 4. 8	12	生活
研 修 部 (6名)	部長 磯貝 澄雄	0749-22-5236	湖 東・支部長	大 15. 2	11	園芸
	今井 博	0748-82-0407	甲 賀・支部長	大 13. 4	11	園芸
	川島 義一	0740-25-2909	高 島	大 13.12	14	園芸
	蘭 昭三	0748-42-1033	中 部	昭 3. 3	18	園芸
	中川志げ子	0749-62-8496	湖 北	大 13. 1	13	スポ
	青山しづ子	077-545-1347	大 津	昭 2.11	14	生活
調 査 部 (4名)	部長 林 憲雄	0749-82-3640	湖 北・支部長	大 8. 5	11	文芸
	大西純一郎	077-525-0033	湖 南	大 12. 4	17	陶芸
	枝村 和次	0749-38-3063	湖 東	大 8.11	12	園芸
	加藤 敏枝	077-586-4115	守山・野洲	大 15.12	17	生活
婦 人 部 (9名)	部長 志連紀恵子	0740-27-1562	高 島	大 14. 3	14	スポ
	女子理事全員					



平成11年11月 発行



H11・6・9 定期総会

於・米原文産会館

各支部演技の披露(244名)

(総会員数1758名)

H11・10・13

第一回支部対抗GG大会

於・八幡津田運動公園

(湖東支部優勝)

湖東支部会報3号(三年目・手作り)

発行

H11・10 22期生入学 82名



グランドゴルフ大会の実施について

総務部長 西 川 甲 三

当初、実施を予定していました九月末日が台風十八号のために延期となりまして皆様にご迷惑をお掛けしました。グランドの都合もあってやっと十月十三日に実施する運びとなりました。

当日、八時十分に近江八幡市の運動公園に着くと、もう何組かの支部が練習していました。その支部の人と立話をする、「このコースは他に較べて上級であると聞いたのであるために早く来た」とのことであり、このプレーに対する意気込みが窺われました。

会長挨拶の後、九時四十分より試合を開始しました。十八ホールでグランドゴルフ場に九チーム（一チームは六人編成）が一斉にプレーをしているのを見てると壮観であり、また各選手が支部の名誉にかけて真剣に取り組んでいる態度には感激致しました。

プレーしている知人の話では「このコースはむづかしくて、思うようにトマリにならないのでいらして精神衛生上よくない」とのことでしたが、それでも成績を見ると一位と二位のチームは共に四百二十七点で、一人当たりの平均点はバー（七十二点）以下であって腕前の良さを知ら

されると共に日頃の練習の成果があらわれていました。各チームの成績は別表の通りですがいずれも見事な成績でした。

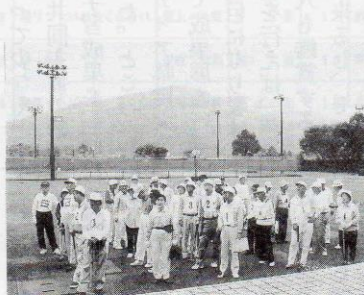
澄みきった青空のもと琵琶湖の涼風を一パイ受けて和気藹々の内に無事終了し、初期の目的としていました親善試合の効用はあったものと思っています。

皆様の御協力有り難う御座いました。

成績表

順位	支部名	得点
優勝	湖東支部	四三〇
準優勝	湖北支部	四三〇
3等	大津支部	四三六
敢闘勝	守山、野洲支部	四三三
5等	近江八幡支部	四三二
6等	甲賀支部	四三三
7等	湖南支部	四三六
8等	中部支部	四三七
9等	高島支部	四三三

（注）湖東と湖北支部は同じ得点でしたが、最少得点の人がいる湖東支部を優勝としました。



平成十一年度の定期総会について

事務局長 奥 村 常治郎

本年度の定期総会は、次の点で従来とは異なる新しい試みのもとで六月九日、県立文化産業交流会館（米原校）で開催されました。

一、議案書を総会に先がけ約一、八〇〇名の全会員に事前配布したこと。

二、出席人員を制限することなく希望者全員出席できるようにしたこと。

三、開催地を例年の湖南地域から、湖北地域に変更したこと。

四、恒例の総会後の懇親会に変え、アトラクションとして日頃地域でボランティア活動に頑張っている会員さんの演芸を披露する発表会にしたこと。

五、新規事業計画として支部対抗グランドゴルフ大会の開催を提案したこと。

会場は、予定の座席を上回る二四二名といううれしい悲鳴の出席者で、急きょ補助椅子を準備するなど当番支部の湖東のみなさんには大変ご苦労いただきましたが、定刻に開催され、稲葉稔学長（前知事）をはじめ足田県老人クラブ連合会長およびレイカディア大学関係者など多数のご

出席、ご挨拶をいただきました。

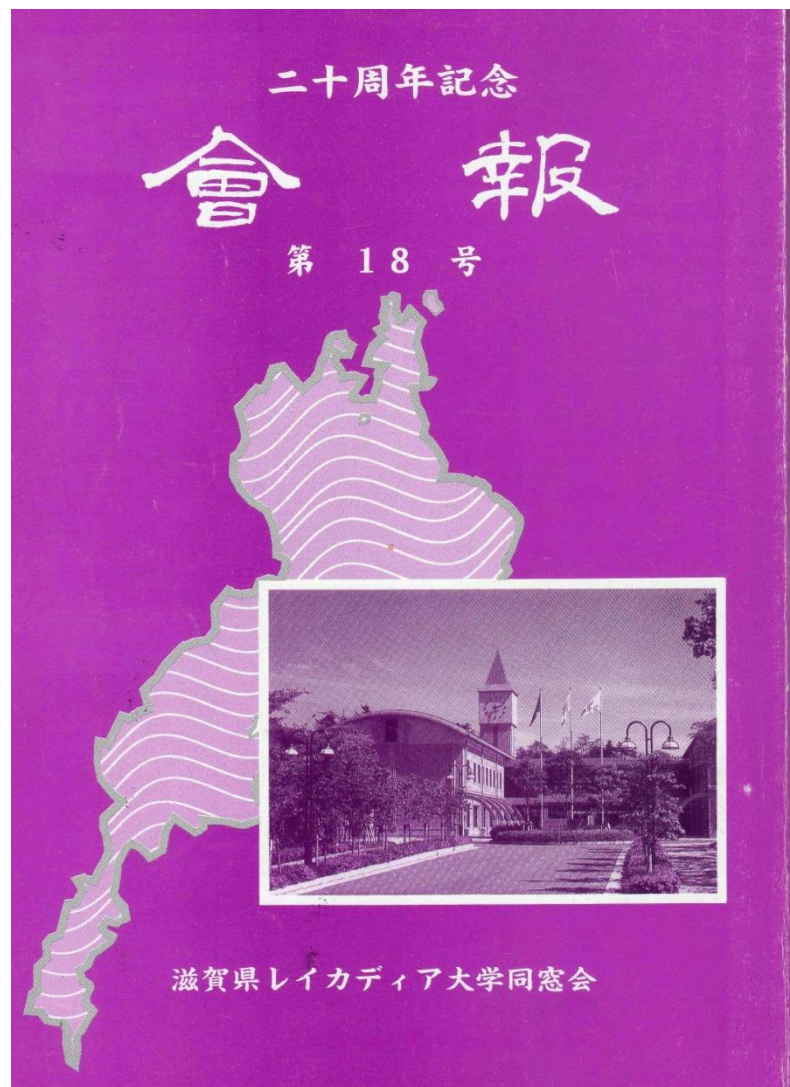
総会は議案書の事前配布で、あらかじめ提案事項に目を通されていたこともあってかスムーズに進行し、無事盛会裡に終了することができました。

（注）総会アトラクションについては、本文七頁に記載）



壇上から下り、功労賞を各受賞者に手渡しする佐々木会長

(H13・5発行)



H12・2・8 同窓会婦人部理事会

H12・6・9 定期総会

於・野洲文化ホール
会則改正 正副会長増員

H12・7・22卒業生活動事例発表

田中(湖南)戸之洞(湖北)

H12・8・8 第一回「地域別懇談会」

於・米原中央公民館
(米原校開設10年)

H12・10 23期生入学 70名



同窓会二十年のあゆみ（沿革と活動）

（滋賀県老人大学校、滋賀県レイカディア大学）

昭和五三年 七、十四 九、二九	滋賀県老人大学校開校（滋賀県老人クラブ連合会に業務委託により） 滋賀県老人大学校開校式（近江八幡市中央公民館仮校舎） 修学年限一年間 第一期生園芸、陶芸、生活、福祉各二十名、定員八十名が入学を許可され、近江八幡農協会館にて入学式が行われた。
昭和五四年 九、	修学年限二学年制に拡充、福祉学科を文芸学科に変更。 第一期生入学式が挙行される。入学生八十名。
昭和五五年 九、二二	滋賀県老人大学校同窓会設立総会 会場 草津市社会福祉センター（第一期卒業式終了後） 初代会長 大橋儀平氏（老人第一期生）選出 滋賀県老人大学校同窓会 会報創刊号発行 第一期卒業生を会員に充足。
十、一	第二期生入学式が草津市社会福祉センターで挙行される。 入学生八十名。
昭和五六年 三、二五	第一期同窓会総会を開催 会場 草津市社会福祉センター （公開講座終了後） 第二期生が卒業する。（同窓会七〇名入会） 会員総数一四八名 老人大学校校舎を大津市京町 滋賀県厚生会館へ移転 （近江八幡仮校舎） 第四期生入学式が県厚生会館で挙行される。 入学生七十八名。
九、二九	第二期同窓会総会、草津市社会福祉センターで開催 懇親会あたが飯店。 当日公開講座に研修参加があり、終了後総会を実施。 同窓会憲章制定。 第二期生卒業（同窓会入会七十二名、 五十七年度同窓会総員二二六名）
昭和五七年 三、八	

昭和五八年 三、二四	十、十四 第五期生入学式が県厚生会館で挙行され、九十三名が入学を許可される。 第三回同窓会総会、大津市のぞみ荘の会場、懇親会は盛会であった。 第二代会長に中川長三氏が選任、会報第一号を発刊、会員に配布。 老人大学校の校歌が制定され当日披露、大学のバッヂも製作在校生に授与。
昭和五九年 五、十六	九、二七 第四期生六十六名が卒業（同窓会総員二八六名） 第六期生一一〇名にて入学式が挙行される。（定員百名に拡充） 第四回同窓会総会、会場彦根市民会館、八支部結成、 総会員数三七〇名、会報第二号を発行し全会員に配布する。 第五期生七九名が卒業、同窓会に入会する。 第七期生一〇六名にて入学式が行われた。
昭和六十年 五、十	九、二二 同窓会定期総会が近江八幡厚生年金休暇センターで開催、 一五七名が出席、新装オープンのお披露目と和気藹々の雰囲気、懇親が行われ盛会裡に終了した。会報第四号が支部結成記念号として全会員に配布する。 第六期生九八名が卒業（同窓会総員四六三名） 第八期生一〇五名にて入学式が挙行された。 老人独立校舎建設に関する請願署名総数一〇六四九名を纏めて、県議会へ提出、満場一致決可決され知事に送付される。 （老人拡充の請願活動）
昭和六一年 三、二七	九、三十 公開講座 会場を近江八幡文化会館で開催される。 同窓会定期総会、湖北農業会館にて開催され、会報第五号を会員に配布。 第七期生一〇〇名が卒業（会員総数五六三三） 第九期生一一〇名の入学式が挙行された。
九、十三	

会報第十八号の編集について

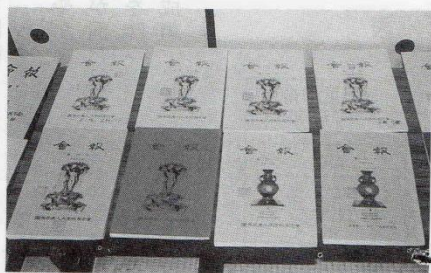
滋賀県レイカディア大学同窓会

広報部長 岩井典弘

滋賀県レイカディア大学同窓会（老人大学校）が発足して丁度二十年を迎える事になり、新世紀と共にこの意義ある好機に併せて、例年とは趣向を変えて記念の特集号に相応しい会報を発刊する為に、昨年度から関係者による編集会議を重ねました結果、先ず、毎年発行の会報を休止して二年分のより重厚な編集内容にする事で衆議を集め、今回の記念誌の主題として、「同窓会の二十年のあゆみ」を佐々木同窓会会長が主筆され収録する事が出来ました。大学の開校以来の沿革と並行して、同窓会の事業活動の経緯について、史実の蓄積の資料を各年度別に選択集約されたもので、先人達の偉業を顕彰すると共に、今後の同窓会の活性化の指針として活用を切に願うものです。

次に、全会員の皆様から例年とは違った発想にて、健康管理、地域活動、座右の銘、趣味、生きがい、最近の関心事など、日頃の所感を「私のひとこと」として三行の枠内に纏めての記述をお願いした処、予想外の投稿があり集約した結果、総会員数一、七五四名（昨年度末）に対し、実に投稿者一、一五七名にて、六六％の投稿率となり、大変に感激しております。

今回の企画を契機として、本会報が会員相互の情報交換の場となり、更に親睦の輪が広がり、同窓会今後の発展に寄与することになれば何よりの幸いかと思います。
なお、本会報の編集について多大のご協力を頂き本当に有り難うございました。



同窓会会報（創刊号～第17号まで）

(H15・1発行)



H13・5・21 定期総会

於・近江八幡Hニューオウミ

創立20周年記念総会

H14・5・21 定期総会

於・米原中央公民館

アトラクション富田人形

支部開催(初回)「作品展」

於・秦荘・歴史文化資料館



▲近江八幡支部

9月29日、市内にある白雲館に於いて支部作品展をレイカディア大学『卒業生作品展』と銘打って開催しました。会場は市内の観光エリア内にあって多くの観光客も訪れて大変盛況な展示会でした。

写真は、会場入口で開催に携わった役員たち。



▲湖北支部

支部恒例の『研修・親睦旅行』は、あいにくの天候でしたが『弁当を忘れても傘忘れな』の諺のように“時雨は、北陸の名物”。その雨で、一段と彩を増した那谷寺の紅葉を賞で、昼食は片山津のグルメで大いに盛り上がり、北陸の味を満喫した楽しい旅でした。

再会を約して無事家路に着きました。



▲中部支部

10月30日、支部初めての『歩こう会』を開催しました。山登りと行事のPR期間が短かったのか、参加者は9名でしたが、標高297mの瓦屋禅寺の参拝では83歳の田口さんをはじめ全員元気一杯で、初めての試みとしては大成功でした。

写真は、平安時代の秘仏を安置した本堂前での記念写真。

◀湖東支部

支部で開催した「作品展」は今年が初めて。書、絵画、陶芸、工芸、手芸、写真、盆栽といずれも素晴らしい作品が所狭しと展示され、見る人の目を楽しませてくれました。

また、会場を湖東三山の一つ『金剛輪寺』内の『歴史文化資料館』にしたこともあって、一般の参拝客も多く観覧に訪れ、大成功の第1回支部作品展でした。

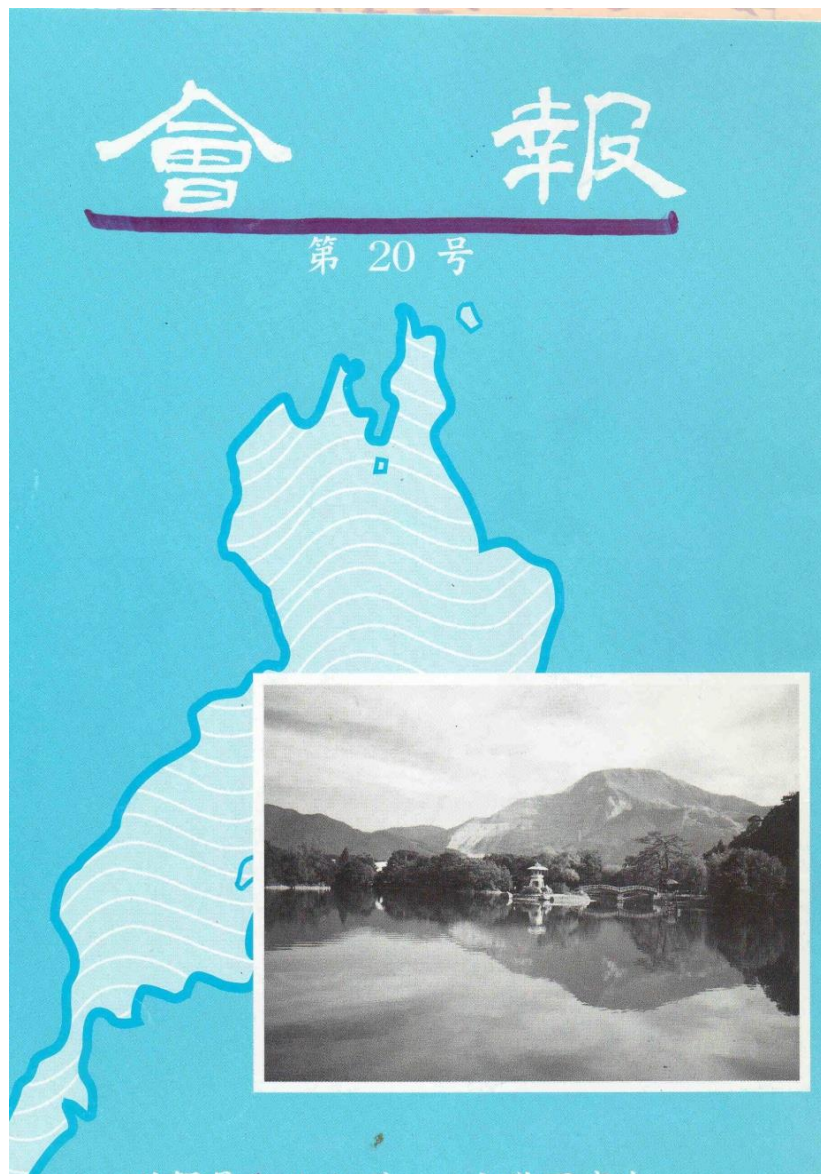


▲高島支部

12月4日、27名の参加者は今津町営バスで、湖西一帯にある公共施設を見学する『1日研修会』を行いました。見学施設は、マキノ町の『白谷学校歴史資料館・夫婦椿』、今津町にある『湖西広域消防本部』、『高島流域下水道処理場』でいずれも地域住民の安全と安心を支えてくれている職員に改めて感謝の1日でした。

写真は、下水道処理場の玄関前です。

平成15年12月 発行



H15・4・1

滋賀県レイカディア振興
財団、
「滋賀県社会福祉協議会」
に統合



平成15年度主要事業

日 時	項 目	事 業 内 容	項 目
5月12日	定期総会	会場 甲良町池寺 一休庵に於いて 議事 14年度 事業報告・決算報告 監査報告 15年度 事業計画・予算審議など 講演 講師 福原範彦氏 レイ大11期 園芸学科卒 「とっておきの話」と奇術披露 懇親会	出席者 40名
7月7日	会報発行	平成15年度第1号支部会報発行 A4版8頁	
9月23日	グランド ゴルフ	荒神山グランドゴルフ場 本部大会出場者予選を兼ねる	35名
10月7日	歓迎会	新入会員歓迎会 会場 甲良町 一休庵 アトラクション 手作り紙芝居、ハーモニカ、キーボード、 三味線演奏等 レイ大OB会 グループ虹他	出席者 50名
10月 11～13日	成果展	湖東支部成果展 会場 秦荘町歴史文化資料館 作品 陶芸、盆栽、書、絵画、工芸、写真 出展数75点	出展者 63名
11月6日	史跡探訪	郷土の史跡探訪 醒ヶ井湧くわく街道散策、昼食後醒ヶ井養鱒場見学	出席者 22名

グループ紹介

【湖東支部】

レイ大スポレク金亀会

連絡先：第15期・スポレク学科 小林 龍男
☎ 0749-28-0131

平成6年1月：スポレク愛好者10余名がフォークダンス、レクダンスの復習会を新年会をかねて開催。その際恒久的に復習会を続けることを申し合わせた。

平成6年5月：小林龍男一五期生が彦根市老ク連会長正田茂松氏に女性会員を対象として「寝たきり予防と痴呆予防」を目的に、フォークダンス参加を呼びかけて貰う。各学区へダンスの指導に出向して練習して貰った。老ク連大会当日女性部員200名程度参加して見事なダンスを披露。その後毎年大会の名物になる。

平成8年1月：スポレクOB会「金亀会」発足

平成15年現在：小林世話人の運営で、自由な組織として会員40名を擁するクラブになった。各地区老人クラブ、健康レククラブへの指導、市民運動会へ出演、老人ホームへの慰問など幅広く活躍。

高齢化時代に軽スポーツを普及し、寝たきり防止をモットーに今後とも活動が続ける。



彦根市老ク連大会においてレク体操の披露風景

平成15年度本部役員

役 職	氏 名	電話番号	備 考
会 長	門 馬 三 郎	077-522-9066	大津支部・支部顧問
副 会 長	磯 貝 澄 雄	0749-22-5236	湖東支部・支部顧問
事務局 長	奥 村 常治郎	077-564-3729	湖南支部長
会 計	磯 貝 澄 雄	0749-22-5236	湖東支部・支部顧問
常任理事	増 尾 一 雄	077-526-2858	大津支部長、広報部長
	岩 井 典 弘	077-582-4709	守山・野洲支部長、総務部長
	城 宏 衛	0748-82-0494	甲賀支部長、総務部副部長
	岩 崎 進	0748-34-6677	近江八幡支部長、総務部
	金 山 准 治	0748-58-0304	中部支部長、広報部副部長
	森 野 久 章	0749-42-3277	湖東支部長、広報部
	松 本 芳 雄	0749-52-3508	湖北支部長、総務部
	池 田 邦 治	0740-36-1126	高島支部長、研修部長
理 事	成 瀬 莞 爾	077-578-0414	大津支部、研修部
	高 田 亮 子	077-537-3384	大津支部、総務部
	西 田 太治郎	077-553-5201	湖南支部、総務部
	宇 野 愛 子	077-562-3181	湖南支部、広報部
	東 出 昌 子	077-587-2540	守山・野洲支部、広報部
	山 内 三代子	077-585-6284	守山・野洲支部、研修部
	松 本 秀 一	0748-86-3685	甲賀支部、広報部
	中 森 静 恵	0748-72-1013	甲賀支部、総務部
	石 部 隆 治	0748-37-7394	近江八幡支部、広報部
	馬 場 利	0748-33-1808	近江八幡支部、研修部
	小 杉 大 雄	0748-48-2349	中部支部、研修部
	山 本 慶 子	0748-58-0165	中部支部、総務部
	山 田 佐太郎	0749-43-2973	湖東支部、総務部
	金 子 良 一	0749-37-2344	湖東支部、研修部
	服 部 日出男	0749-73-3718	湖北支部、研修部
	中 川 志げ子	0749-62-8496	湖北支部、広報部
	熊 地 三治郎	0740-27-0377	高島支部、広報部
	萬 木 敏 子	0740-36-1632	高島支部、総務部
監 事	辻 本 昇	077-587-0247	守山・野洲支部
	中 村 健 二	077-582-5195	守山・野洲支部
顧 問	佐々木 尚 一	0748-32-5904	近江八幡支部

平成16年12月 発行

會 報

第 21 号



滋賀県レイカディア大学同窓会

H16・5・15 「定期総会」

於・アヤハレークサイドホテル

必修講座の聴講制度の
創設

8・6 草津校

8・26 米原校



4. 「必修講座の聴講制度」創設

湖東支部 第15期 文芸学科 川 並 稔 男

「成果展」や「体験発表会」が中止になった後の卒業生と学校をつなぐ唯一の場として、私たちの願いが叶った表記講座が新設されました。

まさに、大学創設以来の画期的な制度で、早速、8月6日に草津校、26日には米原校でそれぞれ開催され、在校生とともに聴講できました。「地域活動の資質向上を目指した講義」は、今後の活動を推進する上で大変参考になった講義でした。

以下に8月26日の米原校での聴講の様子をお知らせします。

平成16年8月26日私達レイ大同窓生13名は、久しぶりの学校と在校生（25・26期生）らの勉学意欲に数年前を思い起こしいささか興奮状態であった。

私達は会場最前列に並び聴講する。テーマは垣見紀之宇治黄檗病院副院長の「血管と老化」後半は村西NECシステムテクノロジーマネージャーによる「IT社会が老後を楽しむ」の二講座、何れも大いに楽しく参考になった。特に垣見先生の血管は灌漑用水というタトエに思わず膝をたたいて納得した。また村西先生はIT革命はかつての産業革命に匹敵するインパクトを与え、ユビキタス社会を作り出すと夢の実現に既に動き出したと熱く語られ一同感動する。かくて初聴講は大成功裡に終了した。



左は垣見先生、右は村西先生



最前列で聴講する同窓生ら（於：米原校）

【湖東支部】

手作り紙芝居グループ「虹」

連絡先：第11期 園芸学科 磯貝 澄雄
TEL 0749-22-5236

「皆さんこんにちは、お元気でしたか。しばらくでしたが今日もまた紙芝居の「虹」がやって参りました。」の挨拶から活動がはじまります。県内各地の特別養護老人ホームや老健センターなどの高齢者福祉施設を主に訪問してのボランティア活動です。内容は紙芝居が中心ですが、最近では手品やハーモニカの演奏をしたり、みんなでリハビリの舞や、童謡・唱歌など唄ったりして約1時間、私たち自身も楽しみながら高齢者の皆さんと共にひと時を過ごすような活動を月1回程度行なっています。これを始めて5年余り経ちますが、グループの7名は全員レイ大の同窓会員で、共通の話題も多く和気藹藹とやっています。このことが本会の表彰規定に該当するとかで、はからずも団体表彰の栄に浴することになり、感謝しています。今後も内容を更に充実して社会福祉貢献の一助にでもなればと全員で協力しながら一生懸命頑張っていきたいと思っています。

代表 甲賀支部 小倉清子



紙芝居の合間に、手品その他の余興を取り入れています。(水口町の医院で)

湖 東 支 部



●史跡探訪会

10月5日支部恒例の史跡探訪会が33名の参加を得て行われた。今年は彦根分会の当番企画ということで、埋木舎・玄宮園・彦根城博物館をボランティアガイドの女性のさわやかな声に誘われるように廻った。近場とは云いながらはじめてきたという人もあり、熱心にメモを取る人もあった。延べどの位の距離になったろうか。彦根城博物館を見終える頃には一様に知的満足感と同時に足の疲れを覚え、車で昼食懇親会場へ向かった。

●平成16年度 主要事業

実施日	項 目	事 業 内 容	備考
5月7日	定期総会	会場：彦根勤労福祉会館 議事：15年度事業報告、決算報告、監査報告 16年度事業計画、予算審議、役員改選等 講演：講師 橋本武浩氏 レイ大16期園芸学科卒 「レイカディア大学に学ぶ」	参加者 45名
9月24日	新入会員 歓迎会	会場：甲良町一休庵 役員紹介、新入会員自己紹介(14名)他 アトラクション：落語とマジック	参加者 51名
9月26日	グラウンド ゴルフ	会場：荒神山グラウンドゴルフ場 本部大会出場予選を兼ねる	参加者 30名
10月 9～11日	成 果 展	会場：秦荘町歴史文化資料館 作品：陶芸、盆栽、書、絵画、工芸、写真 出展数72点	参加者 65名
11月5日	史跡探訪	彦根城、博物館他。写真、記事記載	参加者 33名

中部支部 H16 H17



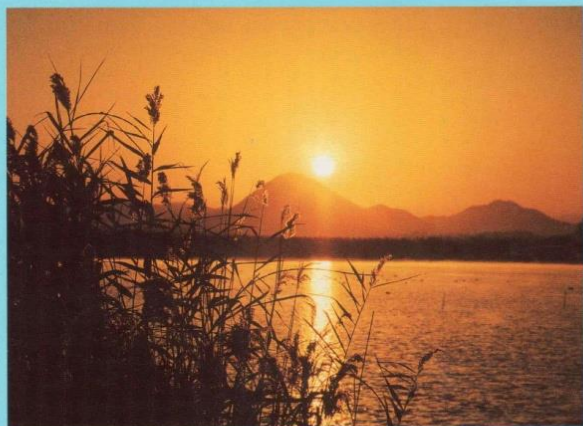
1日研修 大津「岩間寺」松尾芭蕉の碑の前で



文芸セナリヨホールのパイプオルガンがすごかった。

會 報

第 22 号



滋賀県レイカディア大学同窓会

平成17年度

本 部 の あ ゆ み

1 体 験 発 表

3月16日、米原文化産業交流会館で開催された公開講座

レイカディア振興財団主催の「公開講座」で、同窓会が推薦した会員さんが日頃のボランティア活動の成果を発表しました。

体験発表の小倉清子さん（甲賀支部）と、仲間の「手作り紙芝居」の実演、大野木千十さん（湖北支部）の発表につきフォークダンスを演じる仲間のみなさん。

すばらしい発表に満員の会場からは盛大な喝采でした。



2 定期総会

5月14日、滋賀県レイカディア大学同窓会本部定期総会



高島市誕生間もない
忙しい時期にご臨席下
さった海東英和市長。

平成定期総会
レイカディア大学同窓会



過去最高の会員を有し、
また来年は25周年を迎える
同窓会のますますの発展を
誓う奥村常治郎会長。

平成17年度滋賀県レイカディア大学同窓会本部定期総会は、去る5月14日午後1時半から、16年ぶりに高島市新旭公民館で多くの来賓を迎え盛大に195名の会員で開催しました。

高島市は湖に面し、
山々を背に、田植えが
すんだ田園がひろがる
風光明媚なところです。

提案の議案はすべて
滞りなく可決、承認さ
れ、無事盛会裡に終了
しました。

総会終了後、映画
「近江聖人・中江藤樹」
を鑑賞。



米寿慶祝者 計30名
皆さんいつまでも元気で長生きして下さい。

混沌の時代を生き抜く指針となる
感動的な映画で大変好評でした。



5 支部対抗グラウンドゴルフ大会

10月21日、萩の浜グラウンドゴルフ場で開催

10月21日絶好のスポーツ日和り。琵琶湖を背にした景勝の地、高島市の萩の浜グラウンドゴルフ場で支部対抗グラウンドゴルフ大会が開催されました。

成績は常勝の守山野洲支部を破り、湖南・栗東支部が見事初優勝しました。

優 勝		
草津・栗東支部	総打数	325
準 優 勝		
守山・野洲支部	//	331
3 位		
甲 賀 支 部	//	345
敢 闘 賞		
大 津 支 部	//	345
近江八幡支部	//	347
湖 北 支 部	//	349
湖 東 支 部	//	358
中 部 支 部	//	371
高 島 支 部	//	372
個 人 賞		
野上雄三（湖東支部）	打数	49



92歳の赤瀬川イチエさん（甲賀支部）の
勇姿に喝采。

高齢化社会にふさわしく、背筋もびんと張り、
打ったボールを小走りに追う姿には、
とても92とは思えないすばらしい動きに
大喝采でした。



湖 東 支 部

湖東支部定期総会での
川並支部長の挨拶



平成17年度レイカディア大学同窓会湖東支部定期総会

平成17年度レイカディア大学同窓会湖東支部新会員歓迎会

新会員歓迎会での
新会員の自己紹介



10月8～9日に
開催した成果展



グラウンドゴルフ大会
折からの強風にかかわらず
北川慶子さん(19期スポ)が
見事に優勝

●平成17年度 主要事業

実施日	項目	事業内容	備考
5月7日	定期総会	会場：甲良町一休庵 議事：16年度事業報告、決算報告、監査報告 17年度事業計画、予算審議、役員改選等 講演：講師 石部清和氏 「生きる喜びと仕合わせ」	参加者 42名
9月22日	新会員 歓迎会	会場：甲良町一休庵 役員紹介、新入会員自己紹介（19名）他 アトラクション：馬場みさお社中（18期スポ卒）	参加者 72名
9月26日	グラウンド ゴルフ	会場：彦根市庄堺公園グラウンド 本部大会出場予選を兼ねる	参加者 42名
10月 8～10日	成果展	会場：秦荘町歴史文化資料館 作品：陶芸、盆栽、書、絵画、工芸、写真	参加者 55名
10月31日	史跡探訪	百済寺探訪後、金剛輪寺荘へ	参加者 36名



錦秋に一足早い百済寺への研修ツアー

H17 高島 萩の浜



25周年記念
会報
 第23号



滋賀県レイカディア大学同窓会

平成18年度 同窓会本部のうごき

1 本部定期総会（創立25周年）

5月13日、東近江市能登川公民館で開催

当日はあいにくの雨模様でしたが、県下各地から187名の出席を得て、年頭に「東近江市」となったばかりの能登川公民館で、25周年の記念すべき総会を開催しました。議事は議案書にもとづき審議・可決され、引き続き役員改選が承認され、奥村会長による第2次執行部がスタートしました。

総会後は、湖東の歴史文化に触れようと、安土城郭調査研究所の近藤滋所長を招いて、「発掘成果から見た信長と安土城」の講話に耳を傾けました。



開会あいさつする奥村会長



レイカディア振興部大道次長、居原田能登川支所長ら来賓の方々



安土城跡発掘からの考察を語られた近藤所長



ご長寿おめでとうございます



功労賞受賞の皆さん



各支部から出席された同窓会の仲間たち

2 地域活動貢献講座の聴講

草津校・8月4日、米原校・8月31日に各々聴講

今年も両校で63名が、在校生とともに必須講座を聴講することが出来ました。草津校での「町づくりと環境問題」、米原校の「誰もが安心して暮らせる福祉の街づくり」は、いずれも今後の地域活動の参考になる大変有意義な内容でした。

なお、同窓会ではボランティア活動をしている会員の連絡先や活動内容などを、在校生の校外学習の参考資料に供してもらうため大学に情報提供しました。

3 合同懇談会の開催

今年は、昨年までの草津校、米原校の各校区別に行っていた懇談会を、県下9支部からの代表者が一堂に会しての合同懇談会に変え、9月15日にレイカディア大学草津校で開催しました。

出席者は、平素、本部との交流が少ない支部役員や比較的若い会員さんが主体のため、本部から、創立25周年の歩みや活動状況など、次の点について説明しました。

1. 会員は、第27期生の入会者165名により過去最高の1,937名となった。
2. わが同窓会は、単に、学び舎を同じにした者の親睦団体だけでなく、卒業後も地域活動の担い手として活動している会員の多い地域福祉活動団体です。ここが地域の老人会と違うところです。大いに自信と誇りを持って頑張りましょう。
3. 同窓会活動の原点は、支部活動。みなのお知恵で魅せられる支部活動にしましょう。これを受けて、各支部での福祉やボランティア、同窓会の支部活動について活発な情報交換が行われました。



◀ 25年の歩みや活動状況を説明する奥村会長

6 支部対抗グラウンド・ゴルフ大会 優勝 湖東支部

10月20日、絶好のスポーツ日和。今年も湖を背にした素晴らしい高島市の萩の浜グラウンドゴルフ(20ホール)で開催しました。

高島支部の皆さんによる事前のコース整備のおかげで終始10チームで楽しいなかにも熱いゲームが展開されました。戦績は下表のとおりです。各チームともレベルアップした見事な試合を制して、湖東支部が、また個人では湖北支部の岸本四郎さんがそれぞれ栄えある栄光を獲得しました。

団体賞

順位	支部	総打数	総打数(昨年)
優勝	湖 東	316	358
準優勝	湖 北(Ⅰ)	318	349
3位	草津・栗東	322	325
4位	守山・野洲	323	331
5位	大 津	327	345
6位	湖 北(Ⅱ)	331	—
7位	中 部	345	371
8位	甲 賀	348	345
9位	近 江 八 幡	352	347
10位	高 島	359	372

個人賞

1位	湖 北	岸 本 四 郎	42
2位	湖 東	山 城 利 之	46
3位	草津・栗東	徳 井 泉 二	47
4位	守山・野洲	鳥 居 義 樹	48
5位	草津・栗東	中 井 栄 次	49



▲ 9支部10チーム代表選手に挨拶する奥村会長



▲ 湖上を吹く秋風にひらめく同窓会旗のもとで熱戦中の選手



▲ 難しい打ち下しもナイスショット



▲ リボンをつけた「ホールインワン賞」のホール

平成18年度 本 部 役 員

《滋賀県レイカディア大学同窓会》

役 職	氏 名	電話番号	備 考
会 長	奥 村 常治郎	077-564-3729	草津・栗東支部顧問
副 会 長	岩 井 典 弘	077-582-4709	総務部長兼務/守山・野洲支部顧問
	戸之洞 貞 夫	0749-63-7057	会計兼務
事務局長	池 田 邦 治	0740-36-1126	
常任理事	岡 崎 一 郎	077-579-2898	研修副部長/大津支部長
	三 上 善 弘	077-563-4881	研修部長/草津・栗東支部長
	小 林 仁 司	077-583-0773	総務・会計補佐/守山・野洲支部長
	松 本 秀 一	0748-86-3685	広報副部長/甲賀支部長
	木 村 茂 治	0748-37-7218	広報副部長/近江八幡支部長
	齋 藤 吉太郎	0748-52-4672	広報部長/中部支部長
	野 上 雄 三	0749-23-6272	研修部/湖東支部長
	戸之洞 貞 夫	0749-63-7057	湖北支部長
	池 田 邦 治	0740-36-1126	高島支部長
理 事	小 田 悟 男	077-524-0690	広報部/大津副支部長
	齋 藤 治 子	077-543-2895	総務部/大津副支部長
	西 田 太治郎	077-553-5201	総務副部長/草津・栗東副支部長
	宇 野 愛 子	077-562-3181	広報部/草津・栗東副支部長
	鳥 居 義 樹	077-583-2240	研修部/守山・野洲副支部長
	黒 田 玲 子	077-583-1702	広報部/守山・野洲副支部長
	小 林 和 雄	0748-74-2523	総務部/甲賀副支部長
	前 出 慶 子	0748-62-3210	研修部/甲賀副支部長
	岩 崎 一 雄	0748-34-6019	研修部/近江八幡副支部長
	馬 場 利	0748-33-1808	総務部/近江八幡副支部長
	大久保 忠 彦	0748-27-1518	総務部/中部副支部長
	柚 木 幸 雄	0748-52-2090	研修部/中部副支部長
	若 松 實	0749-25-2526	総務部/湖東副支部長
	金 子 良 一	0749-37-2344	広報部/湖東副支部長
	斎 田 美悠紀	0749-85-2334	広報部/湖北副支部長
	福 本 扶左男	0749-50-3115	総務部/湖北副支部長
	磯 部 健 三	0740-25-3682	総務部/高島副支部長
	古 谷 美代子	0740-22-4465	広報部/高島副支部長
監 事	城 宏 衛	0748-82-0494	甲賀支部
	清 水 敏 夫	0748-88-3915	甲賀支部
顧 問	門 馬 三 郎	077-522-9066	大津支部



皆さん、こんにちは、お元気ですか。

滋賀県レイカディア大学同窓会 会長 奥村 常治郎

きらっと光る存在感わが同窓会

設立25周年は“会員2千名で迎えよう”との長年の思いは今年も残念ながら達成できませんでした。しかし、同窓会員の「建学の理念に基づいた地域活動」の実績が、各方面で認められた喜ばしい年でした。

* その1つは、『よおー、日本一』で全国版に

5月にNHKが放映した『よおー、日本一』で、65歳以上の方のボランティア活動が、日本一の県として本県が取り上げられました。

高齢者の42%と言う高い参加率には、レイカディア大学の存在とその役割が果たした成果は、大変大きいとの評価を得たわが母校。甲斐甲斐しく頑張っている会員さんの映像を見るにつけ、同窓生として誇らしくうれしく思ったのは、私一人ではないと思います。

* 2つ目は、「後期高齢者医療運営懇話会」の委員に

ご存知のとおり、来年の4月1日から75歳以上の高齢者を対象にした「後期高齢者医療制度」が発足します。この制度の運営を円滑に行うため、被保険者、医師(歯科)会、学識経験者など県下の関係各団体から推挙された委員15名による「後期高齢者医療運営懇話会」が設置され、その一員に会長が推挙されました。

われわれ高齢者にとって切実、かつ関心の高い事柄に参画する機会を、折しも25周年の節目の年に得られたことは、まことに意義深いことです。

私、個人としてもその責任の重大さを痛感しています。どんな些細な事柄でも結構ですご意見ご質問がありましたら支部長を通じてお聞かせ下さい。

171名の新継承者を迎える

今秋には第28期生が204名卒業し、うち171名(84%)の方が同窓会に入会しました。今年には大学創設30周年にあたり、この間、すでに4千名を越える人が卒業したにも拘わらず、“会員2千名”のハードルが高いのか、今年も未達でした。

「卒業生は全員入会」という常識が、最近では“都市化現象”という言葉で崩れようとしています。しかし、現実には、全員入会の学科もあり、この辺の事情をよく調べ、是非、目標を達成したいものです。それには、「平素の支部活動が大事」を、今一度思い起こしていただきたい。

つまり「支部活動に魅せられた」会員さんは、脱会を思い留まったり、入会を勧めてくれるものです。この好循環で伝統あるすばらしい同窓会をきっちと継承することこそ、私たちの責務

會 報

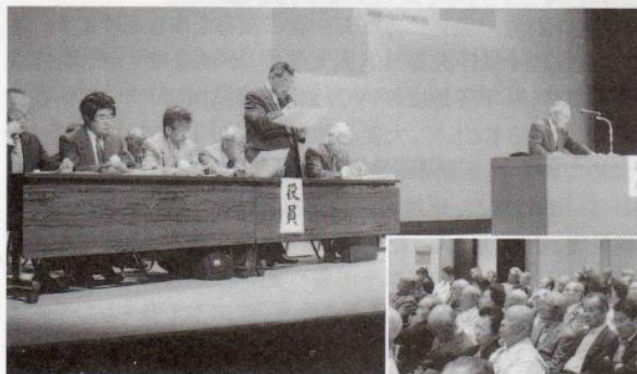
第 24 号



滋賀県レイカディア大学同窓会

平成19年度 同窓会本部のあゆみ

滋賀県レイカディア大学同窓会は、昨年の設立25周年を経て、本年1,945名の会員を擁し、新たな四半世紀のスタートを切りました。5月26日の本部総会にはじまり、予定の活動をそれぞれ盛況裡にすすめています。



◀▼208名の会員出席のもと、同窓会活動の方向を確認しあった本部定期総会



“支部対抗”から“支部交流”に▼▶
名を変えて、和やかに開催した
グラウンド・ゴルフ大会



本部の運営、支部活動の情報交換など語り合う▶
常任理事会は、母校（草津校）でいつも開催

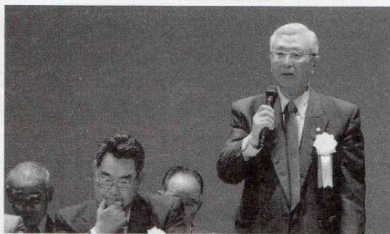


1 平成19年度 本部定期総会

平成19年度本部定期総会は去る5月26日、守山・野洲支部の担当で野洲市文化小劇場において開催しました。レイカディア大学の山田学長（代理）ならびに開催地の山崎市長（代理）を迎え、9支部の会員208名の出席を得て盛大な総会となりました。恒例の功労者表彰9名、長寿慶祝28名の方が受賞され、議事進行に移り提案事項は滞りなく可決、承認され、無事盛会裡に終了しました。

終了後の講演会は、守山市在住の児童文学者今関信子先生が、純真な子供の視線で、分かりやすい言葉で、自分の経験

5月26日 野洲市文化小劇場で開催



▲議案審議で応答する奥村会長

を通じての人生観を話され、聴く人に感動を与えて好評でした。

▶功労者表彰受賞の9名の方々



▲総会風景（レイ大学長代理の祝辞）

▼審議に耳を傾ける出席者



▲執筆の絵本を手やすく語る今関信子先生

2 《草津・米原 両校区合同懇談会》

活性化に、若手会員の発想求める

同窓会活動をマンネリ化させず、会員の皆さんの思いに沿って元気よく展開することをねがって、平成15年から会員参加の懇談会を行っています。当初は草津校、米原校の地域別に開いていましたが、昨年度からは両校区合同開催としています。

今年は7月5日にレイ大草津校で、各支部から25期以降の会員2～3名ずつ、本部役員を含めて30名が参加して開催しました。

当同窓会も設立から20数年となり、会員数も2,000名近くにまで拡大してきましたが、ややもすると設立の意義や目的についての意識もぼやけてきていないか？情報ツールなど時代の変遷に立ち遅れた活動に



なっていないか？活動をパワーアップさせるためには、若い会員の意見をいただき、早期に活動の中核にもなってもらうことが必要という考えに基づくものです。

当日は懇談に先立って、過日、NHKテレビで放映された『よおー、日本一』の収録ビデオを鑑賞し、わが滋賀県が高齢者のボランティア活動が日本で、その根底にはレイカディア大学の存在が大きいとの評価に卒業生として感動と誇りを共有しました。

その後の懇談会では、同窓会のあり方や、地域活動、ボランティア活動へのかかわりに関して、期待どおり活発な意見交換がされました。

全員が積極的に発言

〈主な意見を紹介します〉

◇同窓会活動は、参加すれば楽しいものだとは判ってくる。退会をくい止めるには、いかに活動に参加してもらうかである。

◇新会員歓迎会で、24期生が25期生を歓迎する会を行った。前期の人が次の期の人を迎え入れるように、近い関係で受け入れて行けば絆が強くなる。



◇いろいろな活動（ボランティア活動含め）について、情報交流をもっと盛んにすべきだ。

◇もっと市民に親しめる同窓会に。地域の自治会活動にも積極的に参加したい。

◇レイ大卒業生の中にすぐれた発想を持ち、活動している人がいる。そんな人を講師に招き講演会をしては？

◇会員の中にも意識の乖離がある。個人意識の差、世代の差、本部・支部間にも意識の差がある。

◇自発的に臨んで2年間学んだ誇り、その間に結ばれた絆は強く、すばらしい同窓会だと思う。

◇支部活動の予告、報告、情報交流に主眼をおいた通信を年数回発行されると組織も個人も大いに参考になる。

湖東支部が連続優勝！

10月18日、スポーツの秋にふさわしい好天気。今年は野洲川べりの栗東市野洲川運動公園グラウンド・ゴルフ場（24ホール）で開催しました。今回から“支部対抗”の呼称を“支部交流”グラウンド・ゴルフ大会と変更し、支部間のより一層の交流強化と併せ会員同士の幅広い親睦を図る目的で、選手の選出方法と競技要領について改正を行いました。

総勢10チームが近江富士を眺めながら、和やかに楽しい中にも支部代表選手としての熱いゲームが展開され、成績は下表のとおりです。団体では湖東支部が連続、また個人では湖東支部の山城利之さんがそれぞれ優勝の栄誉を獲得しました。

団体賞

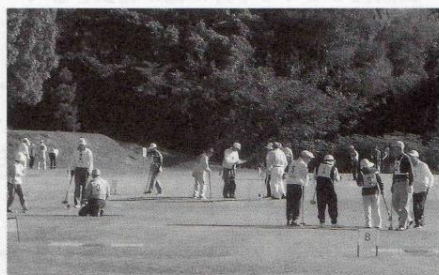
順位	支部	総打数 (上位5名)
優勝	湖東	295
準優勝	守山・野洲	300
3位	近江八幡	324
4位	草津・栗東	332
5位	中部	339
6位	大津	344
6位	湖北Ⅰ	344
8位	湖北Ⅱ	346
9位	甲賀	371
10位	高島	374

個人賞

順位	支部	氏名	打数
優勝	湖東	山城利之	48
準優勝	守山・野洲	岩井豊治	55
3位	近江八幡	大西一	55
4位	守山・野洲	河村利逸	57
5位	湖東	田中昭一	58



▲各支部代表選手が勢揃いしての開会式



▲「ホールインワン賞」の8番ホールでの熱戦



▲連続優勝の湖東支部チーム
ゼッケン5は個人優勝の山城さん

湖東支部の活動

*平成19年度定期総会



▲小林龍男さんの講演

5月8日、彦根勤労福祉会館で開催。定例議事後「激動の昭和を生きて」と題する講演を90歳の同窓生小林龍男さんにして頂きました。その後懇親会。



▲力作揃う会場

*作品展

7月6～8日、彦根市民会館ギャラリーにて。出展者46名。書、絵画、写真、手工芸、盆栽、陶芸、短歌、俳句等出展60点。来場者120名。



▲みんなでレクダンス

*新会員歓迎懇親会

9月21日、甲良町一休庵にて。出展57名、新会員の自己紹介の後、みんなでレクダンス、同窓生有志による舞踊とマジックを楽しみ、会食懇談。

*グラウンド・ゴルフ大会 (9月25日) ——本部大会でも連勝

秋晴れの彦根市荒神山G G場に45名が集合、ベテランから初心者まで楽しくプレイ。優勝は若松實さん（スポ20期）。この日の上位者で編成した代表チームは支部交流大会で団体連続優勝と個人優勝を成し遂げました。

*史跡探訪研修会(9月30日)

築城400年祭で賑わう彦根城周辺を探訪。最初に昼食、次に開国記念館、馬屋、博物館を観た後2班に別れ、健脚組は城山から玄宮園へ。もう1組は玄宮園からまちなか博物館。新会員の綾木さんがボランティアガイドをしてくれ、知ってるようで知らない彦根城を再認識した次第。



▲博物館前に集合して

三支部の仲間がグラウンド・ゴルフで交流

レイカディア大学同窓会で日常仲間が集まる活動は、それぞれの支部内の行事が主体です。もう一段枠を広げて、近隣支部との交流を深めることはまた楽しく、同窓の仲間の絆も強まり、意義あることと思います。

この思いから、ことし、湖東ブロックの近江八幡、中部、湖東三支部は、今、高齢者層で最もさかんなグラウンド・ゴルフを通じて友好の輪を広げようと、11月7日に、近江八幡市の日野川G・G場に集まり、『三支部交流グラウンド・ゴルフ大会』を開催しました。

さいわい好天に恵まれ、各支部から愛好者が総勢90名参加。プレーは前半、後半と18ホールを2回、36ホールをラウンドし、かなり戦略的思考を要するコースに悲鳴をあげたり、待望のホールインワン達成で「ヤッターッ！」と歓声をあげて、大いに盛り上がりました。

普段は出会えない同窓の仲間にも再会して声を掛け合う場面もあり、初回の企画、まずは成功の感を強くしました。これからもグラウンド・ゴルフのみに止まらず、近隣支部との友好と相互啓発をめざして、



▲山ありバンカーありで、熟練者も四苦八苦

多方面で交流の機会を持つことができれば、同窓会活動の新たな魅力にもつながると思っています。

(文責：中部支部長 齋藤)

順位	氏名	支部	スコア
優勝	木村 傳平	湖 東	96
準優勝	岡谷 龍一	近江八幡	102
3 位	山口 正美	近江八幡	103
4 位	伊藤 壽雄	近江八幡	104
5 位	岡田 定一	近江八幡	105
6 位	加藤 和昭	近江八幡	106
7 位	野上 雄三	湖 東	107
8 位	北川 慶子	湖 東	108
9 位	大西 一	近江八幡	109
10 位	佐々木 豊治	湖 東	109

(※スコアは36ホールラウンドの結果)



▲最高齢参加の二人
男性 小林さん(90才)
女性 宮尾さん(89才)



▲難コースを攻略した入賞者を囲む参加の面々

平成20年12月 発行

会報

第 25 号



滋賀県レイカディア大学同窓会

平成20年度 同窓会本部のあゆみ

1 平成20年度 本部定期総会

平成20年度本部定期総会は去る5月31日草津栗東支部の担当で懐かしの学び舎レイ大草津校の大教室において開催しました。来賓には堀レイカディア大学副学長、開催地の橋川草津市長、大道レイカディア振興部長ならびに橋本滋賀県老人クラブ連合会長をお迎えし、9支部の会員229名の出席を得て盛大に行われました。

恒例の功労者表彰9名、長寿慶祝33名の方が受賞されました。議事進行に移り、提案事項は滞りなく可決、本部新役員も選出、承認され、無事盛会裡に終了。

終了後、南草津病院理事長 遠藤 勉先



▲奥村会長のあいさつ

生の「達者で百まで」と題して講演をしていただきました。長寿の秘訣は心身の若さを保つこと、いつまでも異性に関心を持ちおしゃれすることだとユーモアあふれる大変有意義な講演でした。



▲表彰受賞

記念講演▶



「達者で百まで」
講師 遠藤 勉理



▲慎重審議の総会風景



◀レイカディア讃歌斉唱

2 レイカディア大学 必修講座の聴講

草津校（7月25日）、米原校（8月7日）で実施

レイカディア大学卒業生が地域づくりの役割を担い、地域活動の活性化を計るため卒業生を対象に実施されました。

草津校では里山保全団体・遊林会代表の武藤精蔵氏を講師として「自然を生き、自らも生かされる」のテーマで里山の保全活動に取組み、目的を同じくする者なら誰でも参加できる活動として現在も継続されています。

米原校では大野木グラウンドワーク協会代表の藤田博氏を迎え、「大野木のまちづくり」として住民、企業、行政による活動を通じ地域が豊かになるため、身近な環境の創造活動を実践しておられる講話を聴講しました。草津校で32名、米原校では29名が傾聴致しました。

武藤精蔵氏

藤田博氏

3 第1回 地域活動事例発表会

9月11日・米原校で開催した初めての発表会は、卒業後の会員のみなさんが、それぞれの地域で趣味やスポーツを通じての仲間づくりやボランティア活動など日頃の活動事例や体験を発表されました。

今回は米原校区の4組5名の方が発表しましたが、貴重な経験談や苦労話は今後の活動に大いに参考になるものと期待しています。

なお、草津校区の発表会は来年2月28日に、草津校で開催することになっています。



120名収容の会場は超満員の盛況で、みなさん熱心に聞き入っていました。

湖北フォークダンス・レクダンス研究会の活動について
中島貞吉さん・樋口由紀子さん
(湖北支部・第23期スポレク学科・共に)
フォークダンスの実演やスライドを使って発表されるお二人

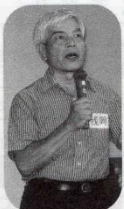


金亀会の活動状況について
小林龍男さん (湖東支部・第15期スポレク学科)
銭太鼓の発足やレクダンスなど軽スポーツを通じての仲間づくりの発表は、とても91歳には見えない



私のボランティア活動

奥居喜久子さん (中部支部・第20期スポレク学科)
点訳のボランティア活動や施設のみなさんと童謡を楽しく歌いながら、無理なく生涯現役でやっていきたい、との発表



近江八幡における退職男性のボランティア活動
浅岡徹夫さん (近江八幡支部・第28期生活科学学科) おやじの居場所探しの料理講習など講習を終えた仲間と立ち上げたボランティア集団の活動は、まさにNHKの「よーい、日本」テレビを地で行く話

湖東支部

◆平成20年度定期総会

レイカ大学同窓会湖東支部定期総会



▲門馬三郎さんの講演

5月8日、彦根勤労福祉会館で定期総会を開催。役員交代の年に当たり、総会・講演・懇親会を終え、前期役員さんの敷かれたレールに乗っかり、一年のスタートと成りました。



▲レイカース28による銭太鼓

◆グラウンドゴルフ大会

9月25日、快晴の甲良町運動公園に46名が集結。新会員からベテランまで楽しくプレイ。優勝は小林多喜雄さんでした。この日の上位入賞者7名で編成した代表チームは、9月16日の支部交流大会に出場。連続優勝のプレッシャーか？ 残念乍ら入賞を逃しました。



▲和やかにプレーを楽しみました

◆紫式部ゆかりの地を訪ねる旅

10月30日、好天にめぐまれ39名が源氏物語1000年紀に因み、石山寺、平等院へ初の研修バス旅行を実施。平安貴族の世界をチョビリと味わいながら、偶然にも近江八幡支部御一行と合流、源氏物語ミュージアムのシアターでは、両支部同窓会で貸切り状態。交友を深めながら楽しく研修を終えました。



▲平等院鳳凰堂にて

各支部の活動

◆作品展



▲会場風景

7月4～6日、彦根市民会館ギャラリーで開催。出展者50名、書・絵画・写真・手工芸・盆栽・陶芸・短歌・俳句と60点の力作の展示。

◆新会員歓迎懇親会

9月19日、甲良町一休庵にて。今年の新入会員19名 (内13名) 出席のもと総勢55名で、新会員・役員紹介の後、先輩の28期同窓生による熱演で会場の雰囲気盛り上げて頂き、会食・懇談とごやかに交流をはかりました。

昨年7月に発足いたしました「近江の歴史と文化を訪ねる会」（略称・歴文会）も漸く一年を経過し、会員皆さんの親睦の輪も広がり、当初目標として掲げました滋賀県一円の地域文化と歴史の理解も、回を追うごとに深まってきたところです。

ご承知のとおり、昨年のレイ大学第30期生の募集より、伝統ある「文芸学科」が消え、「地域文化学科」が新たに創設されました。既卒の文芸学科の皆さんにとっては大変ショッキングなことでもありましたが、おおかたはこれも時代の要請によるものかと、一抹の喪失感と寂しさを感じながら諦めきれない思いでおりましたのは、私一人ではなかったかと存じます。

そんな空気のなかで、ならば新しい「地域文化学科」とは何を勉強し、何を習得して地域社会に還元していくものであるか、むしろ積極的にこれからの生涯教育の範疇に捉えて、我々自身が取り組んで行ってみようと思ひ、皆さんに呼びかけていったのが丁度一年前のことでもあります。この旨を趣意書にもりこみ、学科を問わず、卒業年次も問わないことを条件とし、賛同者を募りましたところ、忽ち五十名に達する会員を集めることになりました。

ちなみに「学習会」と名付ける年4回の催行のうち、既に実施の三回を列記いたしますと、

第1回 「湖南三山と周辺の石仏・石塔を訪ねる」 H19.11.19

善水寺・常楽寺・長寿寺での講話、不動磨崖仏・廃少菩提寺の石仏を見る

第2回 「湖西路をゆく①」 H20.4.16

湖上タクシー（漁船）による琵琶湖の環境と海津大崎観桜、マキノ・朽木の史跡探訪

第3回 「比叡山三塔と無動寺谷を巡る」 H20.7.2

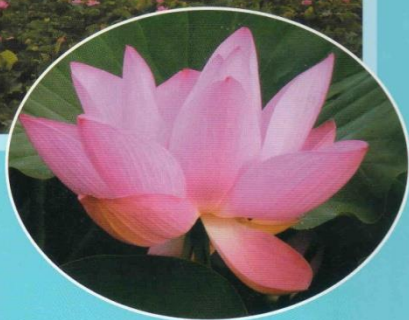
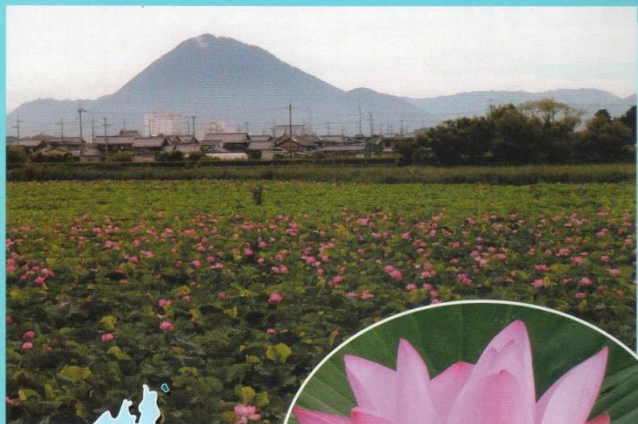
近江出身の比叡山三偉人「最澄」「相応和尚」「元三大師」の足跡を訪ねる

いささか気負ったことを申しあげますが、歴文会の目的と学習の内容は、あくまで通り一遍の物見遊山に終わらせることなく、より広くより深く歴史と文化を見聞することにあります。そしてなお一歩をすすめ、われわれシニア世代が率先実行し、家族は勿論のこと地域社会のみなさんにも〈レイカディア讃歌〉にあるような理想郷実現への精神を醸成し、さらにはこの滋賀県の歴史文化の環境を、大切に守っていくことにあるのではないかと考えております。

平成21年12月 発行

會 報

第 26 号



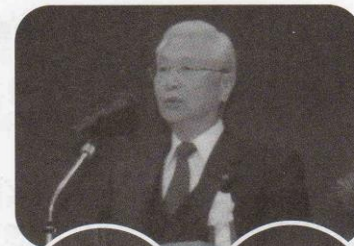
滋賀県レイカディア大学同窓会

平成21年度 同窓会本部のあゆみ

1 平成21年度 本部定期総会

平成21年度本部定期総会は去る5月16日（土）近江八幡支部の担当で近江八幡市文化会館小ホールで開催しました。来賓には福田レイカディア振興部長並びに富士谷近江八幡市長を迎え、当日はあいにくの雨にも拘わらず9支部の会員221名の出席を得て盛大に開催されました。恒例の功労者表彰9名長寿慶祝28名の方が受賞されました。

議事進行に移り提案事項は滞りなく可決、承認され盛会裡に終了。第2部はK&Mグループによる大正琴とエレキの迫力あるステージを楽しみ、歌の喫茶時間では全員の合唱で盛り上がりアンコールの声も飛ぶなか閉幕としました。



▲奥村会長のあいさつ



▲来賓挨拶 福田レイカディア大学振興部長(左)
富士谷近江八幡市長(右)



▲功労者表彰



▲長寿者慶祝



▲大正琴の生演奏

▼議案審議



◆◆◆ 各支部の活動

湖東支部



▲28期生活科学学科 外村輝夫さんの講演



▲総会風景

◆平成21年度定期総会

5月8日、彦根勤労福祉会館で定期総会を開催。総会、講演、懇親会となごやかな一年のスタートとなりました。

◆作品展

7月3～5日の3日間彦根市民会館ギャラリーで開催、出展者40名、出展数56点、力作揃いの展示で、4日の中日新聞のびわこ版に作品展が取り上げられ励みとなりました。



▼会場風景▼

▲上位入賞者のメンバー



◆グラウンドゴルフ大会

9月25日、甲良町運動公園で開催。47名の参加者が集い楽しくプレイ、優勝は野口勇さんでした。上位入賞者は本部大会へ出場。地元開催で他支部に花を持たせたのか？それなりの敢闘でした。



▲難コースOB続出



▲入会のあいさつ

◆新会員歓迎懇親会

9月18日、甲良町一休庵で開催。今年は23名の新会員を迎え（内16名）出席のもと、総勢81名（会員の約1/3）が参加。アトラクションでは同窓会員による、よし笛、南京玉すだれ、座敷音頭、マジック等、次々と見事な芸を披露、4時間余りがアツと言う間に過ぎ、楽しく交流がはかれました。



▲歓迎のあいさつ

＝お知らせ＝

滋賀県レイカディア大学の休校について要請

滋賀県は平成22年度の予算編成にあたり、財源不足のため56億数千千万円の経費削減を行う必要が生じ、その一環としてレイカディア大学の運営について次のとおり発表されました。

- (1)レイカディア大学の学生募集を平成22年10月分から停止し、平成23年10月から当面休校する。
- (2)現在在校生（第31期生・第32期生）は卒業させる。

これに対し、同窓会は次のとおり対応する。

1. 同窓会活動は今までと存続し、活動する。
2. 11月26日知事に面談のうえ下記のとおりレイカディア大学の休校撤回を強く要望しました。

滋賀県知事
嘉田 由紀子 様

平成21年11月26日

滋賀県レイカディア大学
会長 奥村常治郎



滋賀県レイカディア大学の休校の撤回について（お願い）

厳しい県財政のなかでの舵取り、さぞご心労のこととお察しいたします。さて、報ぜられるところによりますと、巨額の財源不足が見込まれる中で苦渋の収支改善策が策定され、その一つにレイカディア大学の休校が掲げられています。

しかしながら、レイカディア大学の建学の精神に則り各地域で地道に活躍している卒業生の別紙現状および先輩に続こうと入学を目指している後輩の思いをご賢察いただき、是非、レイカディア大学の休校を撤回していただきたく強く要望いたします。

以上

別添書類
地域で活躍しているレイカディア大学
卒業生の現状 1部

以上



◀嘉田知事にレイカディア大学の休校撤回の要望書を手渡し奥村会長

嘉田知事との面談要旨

11月26日、本部執行部は知事を訪ね、嘉田知事にレイカディア大学の休校撤回の要望書を直接手渡ししました。

知事からはレイカディア大学の卒業生のみなさんが地元でのボランティアをはじめ、いろいろな地域活動に対してお礼の言葉があり、レイ大の重要性についても十分理解しているとのことでした。

しかしながら、概要、次のとおり県財政の厳しい現状のご理解ご協力をお願いしたいとの説明があったが、「休校」に関する話はなかった。

- ①県は「財政構造改革プログラム」を平成18年度から実施してきたが、現状のままの財政状況では「財政再生団体」へ転落し破産状態になる。
 - ②このため更に一層の見直しを行い平成22年度の予算編成に取り組む。
 - ③その一環として高齢化に伴う福祉関係の自然増分や、レイカディア大学運営費の県負担など健康福祉関係の分野でも、県の施策水準のあり方や役割分担などを見直し、みなさんにも応分の負担とご協力をお願いすることになる。
- 以上15分程度の限られた時間での面談ながら県民としては、厳しい現状認識と一定の理解をせざるを得ない、と思いました。

知事との面談後、元気長寿福祉課長から次のとおりコメントがありました。

今後、レイカディア大学に関するみなさんのご意見やご提案について真摯に受けとめていきたいと考えております。

以上

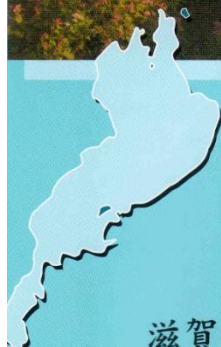
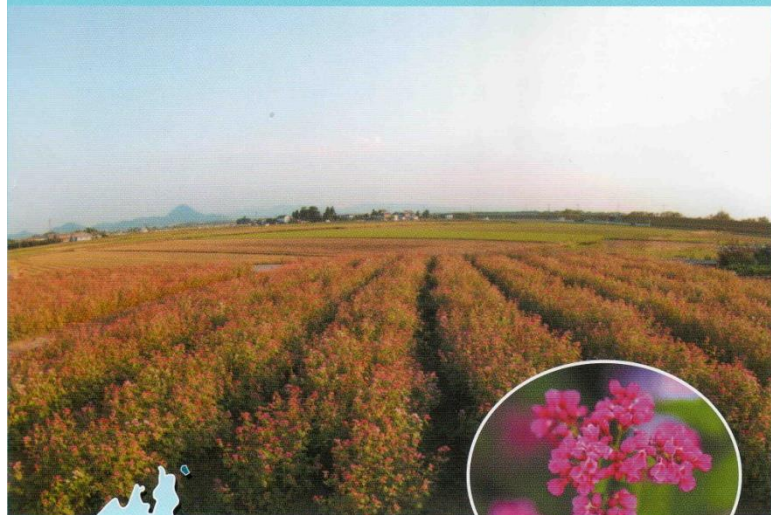


レイカディア大学同窓会員の日頃の活躍ぶりを説明しながら休校回避を訴える本部執行部。於・知事執務室横の会見室。

平成23年1月 発行 A4版に

会報

第 27 号



滋賀県レイカディア大学同窓会

平成22年度 同窓会本部のあゆみ

1 平成22年度 本部定期総会

平成22年度本部定期総会は、去る5月15日（土）湖東支部担当のもと彦根市文化プラザで開催。県下より207名の同窓会員の参加を得、来賓には県レイカディア振興部長福田氏、宿久課長並びに彦根市長を迎え盛大に開催されました。

議案はいずれも原案通り承認され、記念講演には長浜城歴史博物館の太田浩司先生より「石田三成の生涯と業績」の演題でご講演をいただきました。



▲新会長挨拶



▲新役員紹介



▲来賓の方々

太田氏の
記念講演▶



▲奥村前会長に感謝状贈呈





平成22年度 本 部 役 員



《滋賀県レイカディア大学同窓会》

役 職	氏 名	電話番号	備 考
会 長	戸之洞 貞 夫	0749-63-7057	湖北支部
副 会 長	小 林 仁 司	077-583-0773	広報部長／守山・野洲支部
	岡 田 定 一	0748-34-8656	近江八幡支部長
事務局長	山 岡 昇	0749-24-2607	湖東支部長
会 計	青 木 忠 雄	0748-45-0144	中部支部長
常任理事	増 田 泰 男	077-574-0946	研修部副部長／大津支部長
	国 松 功	077-553-7383	総務部長／草津・栗東支部長
	小 林 仁 司	077-583-0773	広報部長／守山・野洲支部長
	小 林 和 雄	0748-74-2523	研修部長／甲賀支部長
	岡 田 定 一	0748-34-8656	研修部／近江八幡支部長
	青 木 忠 雄	0748-45-0144	研修部／中部支部長
	山 岡 昇	0749-24-2607	研修部／湖東支部長
	田 中 孟	0749-65-1268	湖北支部
	池 田 邦 治	0740-36-1126	総務部副部長／高島支部長
理 事	岡 崎 一 郎	077-579-2898	広報部副部長／大津支部
	斉 藤 治 子	077-543-2895	総務部／大津支部
	千 代 幸 子	077-558-1120	研修部／草津・栗東副支部長
	西 村 満 子	077-564-7484	広報部／草津・栗東副支部長
	高 野 隆 男	077-583-2196	広報部／守山・野洲副支部長
	加 藤 英 昭	077-589-2190	研修部／守山・野洲副支部長
	小 林 龍 朔	0748-86-5770	総務部／甲賀副支部長
	木 村 榮 子	0748-77-3467	広報部／甲賀副支部長
	高 橋 一 男	0748-37-2301	総務部／近江八幡副支部長
	赤 尾 美智子	0748-33-4363	広報部／近江八幡副支部長
	西 村 輝 彦	0748-42-2939	広報部／中部副支部長
	澤 亨	0748-42-1767	総務部／中部副支部長
	外 村 輝 夫	0749-23-9715	総務部／湖東副支部長
	吉 田 広 蔵	0749-48-0648	広報部／湖東副支部長
	吉 田 英 治	0749-54-1928	研修部／湖北副支部長
	山 口 忠 義	0749-62-3711	広報部／湖北副支部長
	松 本 敬 三	0740-22-0794	研修部／高島副支部長
	富 田 豊	0740-25-2938	広報部／高島副支部長
監 事	黒 田 玲 子	077-583-1702	守山・野洲支部
	青 木 信 男	077-583-6160	守山・野洲支部

4 第12回 支部交流グラウンドゴルフ大会

恒例となった支部交流グラウンドゴルフ大会を10月2日（土）、湖東支部の方々の準備万端に渡りのご協力により、彦根市荒神山公園運動施設「グラウンドゴルフ場」において、開催しました。

当日は、秋日和に恵まれ、支部対抗戦から交流と親睦を計ることに変わり4年目を迎えて、参加11チーム77名の選手は、和気あいの内にプレーが進みました。

また本年は、在校生の方にも参加要請をしたところ米原校より参加を頂きました。

整備が行き届いたコース、加えるに選手の技術向上からホールインワンが続出、38個も出て、個人で3回された方がおられました。 総務部

本部GG大会 於：彦根荒神山

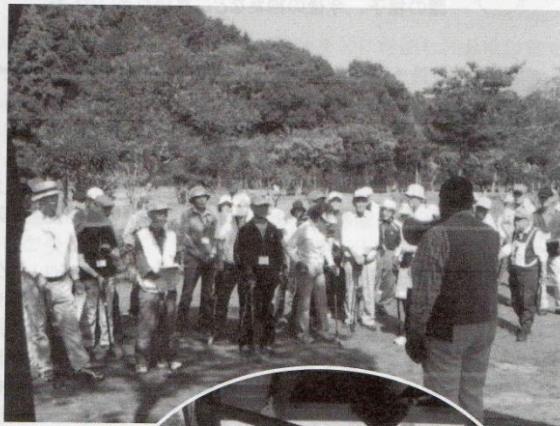
【団体戦順位】

順 位	支 部	合計総打数
優 勝	近江八幡支部	483
準優勝	湖 東 支 部	496
三 位	守山・野洲支部	503
敢闘賞	湖北支部（A）	513
々	中 部 支 部	513
々	湖北支部（B）	518
々	大 津 支 部	519
々	レイ大米原校	530
々	高 島 支 部	557
々	甲 賀 支 部	561
々	草津・栗東支部	(416)※

※草津・栗東支部 選手1名不足

【個人戦順位】

順位	支 部 名	氏 名	総打数
一位	近江八幡支部	山口正美	55
二位	湖北支部（A）	竹林春雄	59
三位	守山・野洲支部	宮川良知	60
四位	湖 東 支 部	山城利文	63
五位	守山・野洲支部	鳥居義樹	63



湖東支部のうごき

湖東支部

平成22年度 湖東支部定期総会

4月28日 彦根勤労福祉会館大ホールで開催

去る4月28日（水）、彦根勤労福祉会館大ホールに於いて会員多数の出席を得て支部定期総会が開催され、平成21年度の活動報告、決算及び平成22年度の事業計画、予算いづれも原案通り承認、可決されました。総会終了後、滋賀大学経済学部、筒井正夫教授による「近江商人の活躍と滋賀県経済」の演題で御講演頂きました。



作品展

7月2～4日の3日間、彦根市民会館のギャラリーで開催。中日新聞に掲載のとおり、出展者47名、作品数66点、同好会や独学で趣味を深める会員各位の力作が並びました。また、本校の広宣及び入学勧奨の一助になればと、米原校33期生の入学募集要綱を準備し来場者に配布。



新会員歓迎懇親会

9月21日、31期卒業の新会員24名（内20名出席）をふくめ、総勢80名の会員が参加、例年通り甲良町の一休庵で開催。新会員には各自のプロフィールを紹介いただき、そのあと先輩会員によるアトラクションなどを披露。レイカディア讃歌のCDが流れると、誰言うともなく踊りの輪が広がり、会場は大いに盛り上がりました。



支部グラウンドゴルフ大会

9月29日、荒神山グラウンドゴルフ場で開催。新会員をふくむ総勢65名の参加があり、なかなかプレーを楽しみました。優勝の山城さんはじめ上位入賞7名の方は、10月2日に開かれた本部大会（場所は湖東支部担当・荒神出GG）へ出場、チームプレーよく準優勝に輝きました。＜写真は本部大会出場者と役員＞

地域の子どもたちを育てる

湖東支部 第21期 文芸学科 金子 良一

前湖東支部長の金子さん、「秦荘子どもトライアル」と銘打って、地域の子どもたちを育てる活動に取り組んでおられると聞き及び、今回その状況を取材させていただきました。活動内容と概要を「ボランティア体験記」のかたちで、以下にまとめてみました。

◆目的

様々な体験学習を通じて、子どもたち一人一人の可能性を伸ばすことを目的とし、他の学年や他の学校の友達、地域のボランティアとの交流を深め、互いに思いやる心を育む。

◆活動内容

野外活動・自然観察・創作活動・料理・レクリエーション活動等（その年の活動計画に基づきサポートを行う）内容により参加は自由。

◆ボランティア体験記

最初は孫のような大勢の子どもとどの様に接して良いのか、何をしたいのか戸惑いが大きい。顔と名前を覚えるのにも一苦労する。

ボランティア仲間（15名程度）の気心も解らず、まず先輩のやり方や、子どもたちを観察することから始まる。

参加回数を重ね体験を積み重ね、ボランティア仲間や子どもたちの得意分野と個性が解り、活動内容に応じて必然的にリーダーが決まり、自分の身の置き所が定まってくる。

子どもたちの発想力は素晴らしい。教えるとか指導するなんて考えていたらとんだ間違いで、子どもを通じて教えられることが多い。（子どもの世界のことであり、注意したりルールを守らせること等は当然おこり得る）

3年生から6年生の子ども5～6名で7班のグループ（毎回メンバー変更）を組みサポーターとしてボランティアが1名つく。

活動目的を満たすための手法であり、年長者が年下の子の世話をさせるという意味もある。ボランティアは出来るだけ口や手を出さずに子どもたちに物事をさせ、質問を受けた時に答える程度にしようという申し合わせでスタートするが、時間的な制約もありついおせっかいをしてしまう。

ボケ防止に参加なんて気楽なことは言っておれない。子どもは危険な事を好んでやりたがる。小競り合いがあったり、キズをつくったり、熱を出

したり、誰それがアーしたコーしたと対応に忙しい。今回は事故もなく無事にすんだなーとホッと、ボランティアさんありがとーの声で終わる。

お陰様で子どもたちの知り合いも多くできて出会うと声を掛けてくれたり、中学生になっても挨拶してくれる。体力仕事でそう長くは続かないが、子どもの成長が楽しみである。

（取材者：山岡 昇）



流しソーメン大会



溜め池でブラックバス釣り（外来魚駆除）



岩倉川で水中生物調査



竹細工（流しソーメンの器とハシ）

河川的环境保全への住民活動

湖東支部 第27期 生活科学学科 藪田 和彦

レイ大を卒業して4年が過ぎ、在学中から始めた地域活動を続けています。地味な仕事ですが、河川的环境保全のために、彦根市環境保全指導員として、河川の水質保全に関わっています。平成4年に彦根市が策定した「生活排水対策推進計画」に基づき、水質や水生生物の調査、生活排水に関する啓発を地域に於いて推進するものです。市民も参加して、環境保全に関する市民の活動の輪を広げようとするものです。

指導員の役割は、平成12年より始まった市内の中小河川、水路の水質調査です。平成22年4月現在で、63名の指導員が活動しています。毎月1回市内127地点を手分けして、パックテストによる水質検査を行います。検査項目はCOD、アンモニア、リン酸、PHの4項目です。会ではその結果を地点別に、水質に応じて色分けした彦根市の地図を作成しています。また、生活排水対策についての啓発活動や河川に生息する生き物の生態調査を行います。どんな水生生物が住んでいるかで、水の汚染状態が分かります。汚れた水に好んで住む生き物もいます。

汚れを表す4つの指標のうち、代表的なものはCODであります。CODは化学的酸素消費量または化学的酸素消費量とも言われ、水中にどれ位有機物があるかを示すものです。

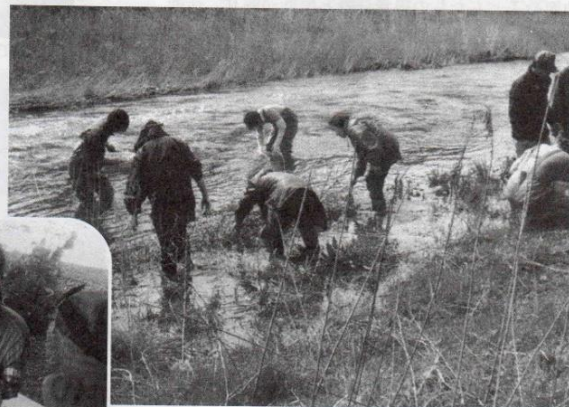
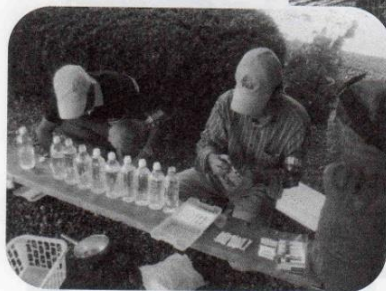
CODは生活雑排水等から供給される有機物による汚れの指標となります。汚れの指標となる水質項目として、CODの他に窒素。リンもあり、これらも生活雑排水から供給され、CODと相関があります。

会では水質測定について、精度向上のための実習を積み重ね、「身近な水環境の全国一斉調査」「琵琶湖一斉モニタリング調査」等に毎年参加しています。

他にもホタルの生息状況の調査や環境関連行事への参加など行っています。

今後、市が開催される「環境スクール」に多くの市民の方が参加され、身近な河川や水路の水質に関心を持っていただき、一緒に下水対策や河川の美化への取り組みが広がって行ければと思います。

水質調査



水生生物の採取

（広報部員が藪田さんに取材：ご本人より提供の記事、写真を掲載致しました。）

レイカディア大学再生の動き

1. はじめに

レイカディア大学関係者にとって晴天の霹靂であった、休校問題が多くの関係者の復活への熱い思いが幸運にも結実し、途切れることなく継続が決定された。

厳しい財政事情の中での決定であり、経費節減と卒業生、在校生との協働運営（サポート隊・後記）を条件に復活された。以下に経過と協働運営の柱であるサポート隊の現況を報告する。

2. レイカディア大学継続への経過（概要）

- (1) 平成21年10月 県は、県財政が危機的な逼迫状況にある中、レイカディア大学の学生募集を平成22年10月分から停止し、平成23年10月（32期生卒業後）から当面休校するとの方針を発表した。
- (2) この方針発表に対して、レイカディア大学同窓会が県知事に直接、大学継続について要望（会報26号で報告）するなど、大学OBや在校生等の多くの県民の方々から継続の要望が県に出された。
- (3) 大学の運営主体である滋賀県社会福祉協議会においては、学識経験者や地域関係団体、企業関係者、レイカディア大学関係者等を構成員とする「レイカディア大学休止に伴う再編検討会」が設置され、平成22年3月、大学再編についての提案書が県に提出された。
- (4) 平成22年5月 これらを踏まえて、県はレイカディア大学の果たしてきた地域活動への貢献や社会的、文化的役割に鑑み、厳しい財政事情であるが、卒業生、在校生との協働した運営を行うことで大学の継続を決定した。
- (5) 平成22年6月 第33期学生募集を開始
平成22年6月 サポート隊設置に向けての打ち合わせ開催（草津校、米原校）
平成22年10月 第33期生入学
平成22年10月 草津校サポート隊発足会（サポーター委嘱）
なお、米原校サポート隊発足準備中

3. レイカディア大学の継続内容

上記の経過で継続が決定され、その際の主な変更は以下の通りである。

(1) 入学定員の変更

草津校：園芸学科：50人（2クラス）、米原校：地域文化学科：なし
総定員：215人（草津校：145人、米原校：70人）

(2) 授業料の見直し

現 行	H22年10月～23年9月	H23年10月～
25,000円	35,000円	50,000円

(3) 卒業生、在校生との協働した運営改善

サポート隊（別項参照）創設による多面的な運営改善を進める。

(4) その他

入学資格の75歳の上限を削除

中部支部 H22



東近江市能登川公民館第52回文化祭に協力出品



22.10.27(水)
レイカディア大学同窓会
4支部親善グランドゴルフ大会
於：東近江市栗見新田町地先
ふれあい運動公園



「高齢者の大学」 卒業生が作品展

彦根市民会館

高齢者のための大
学、県レイカディア大
学の卒業生が趣味の書
や絵画などを展示する
作品展が、四日まで彦

根市尾末町の市民会館
内ギャラリーで開かれ
ている。入場無料。

湖東地域に住む五十
人が、掛け軸に書いた
漢詩や県内の風景を描
いた水彩画、はぎれを
使ったパッチワークな
ど六十五点を出品。同
大卒業後も、同好会や
独学で趣味を極める六
十～九十代の意欲あふ
れる力作が並ぶ。

同大同窓会湖東支部
長の山岡昇さん(六八)は
「みんなマイペースで
創作を続けている。年

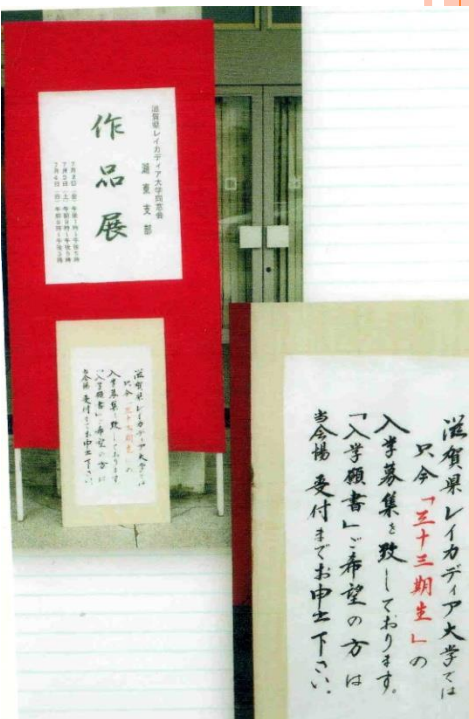
をとつても、仲間と作
品を発表できるのはう
れしい」と話してい
る。

開館は三日が午前九
～午後五時、四日が午
前九～午後三時まで。

(森若奈)



レイカディア大卒業生による創作意欲あふれる作品―彦根市の市民会館で





レイ大同窓会 新会員歓迎懇親会
湖東支部

滋賀県レイ

2010.09.21



H23・10





H23・10

